MAN-191H　ZJ11　2026年3月20日発行

TOSTEM リプラス 居室仕様・浴室仕様
アングルカバー・見切材・テラス用アタッチメント 組立て・取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

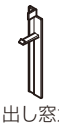
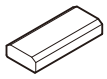
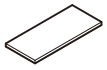
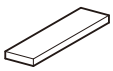
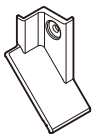
⚠注 意 …組立て・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠注 意

●アングルカバーの取付けはねじの締めすぎに注意してください。
電動ドライバー使用時は、0.5N·m {5kgf·cm}程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

■部品一覧

アングルカバー

アングルカバー組立てねじ	アングルカバー端部キャップ
 トラスタッピン1種φ4×12	
アングルカバー端部キャップ	アングルカバー取付補助ブロック
 ※縦・横すべり出し窓カムラッチの横引きロール網戸適応サイズの場合	
アングルカバー取付補助ブロック(下)	アングルカバー取付補助ブロック(下)(ブリッジ枠)
 ※テラス用アタッチメントの場合は使用しません。	
アングルカバー取付けねじ(浴室用)	アングルカバー取付けねじ(居室用)
 皿タッピン1種φ4×20 ※枠に同梱されています。	 皿木ねじφ3.1×20 皿木ねじφ3.1×56(TWタイプ用) ※枠に同梱されています。
テラス用アタッチメント端部キャップ	アングルカバーシール目地保持ブロック(浴室窓単独交換用)
	
テラス用アタッチメント端部キャップ取付けねじ	
 薄平木ねじ φ3.1×20	

見切材

見切材コーナーピース両面テープ仕様	見切材取付けねじ
	 皿木ねじφ3.1×20
見切材コーナーピースねじ止め仕様	見切材コーナーピース取付けねじ
	 薄平木ねじ φ3.1×20

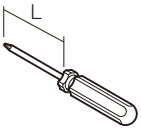
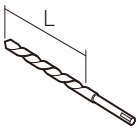
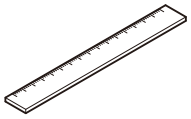
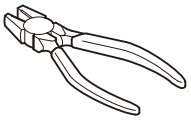
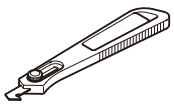
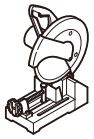
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	ねじのゆるみ、ねじバカはないか	□

●2次元コードにアクセスいただくと、施工説明動画をご覧いただけます。動画は参考例になります。必ず説明書の手順を実施してください。

居室用
(TWタイプ含む)
施工説明動画

■取付けに使用する工具一覧

電動ドライバー	ドライバー(手回し)
※1 L  トルク調整付	※1 L 
ドリル刃	直尺
※1 L  Φ1.5~2	
ペンチ	Pカッター
	
切断機	シーリング材
	 変成シリコーンをご使用ください

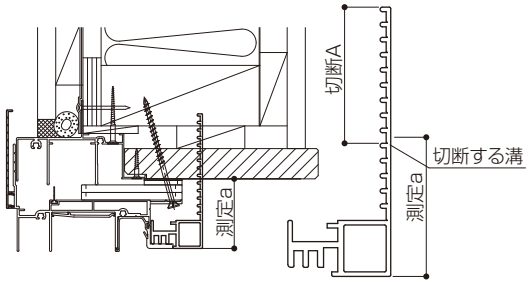
※1：アングルカバーの見付けが大きい納まりで見切材コーナーピースをねじ止めする場合は、ドリル、ビットのLは100mm以上をご用意ください。

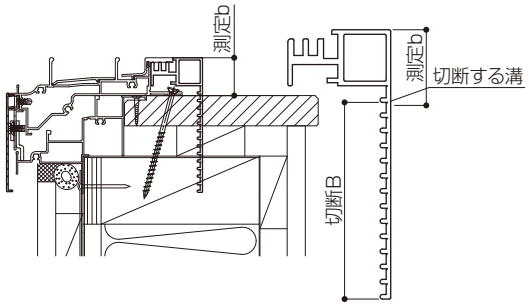
※テラス用アタッチメント付の場合は、P.17へ進んでください

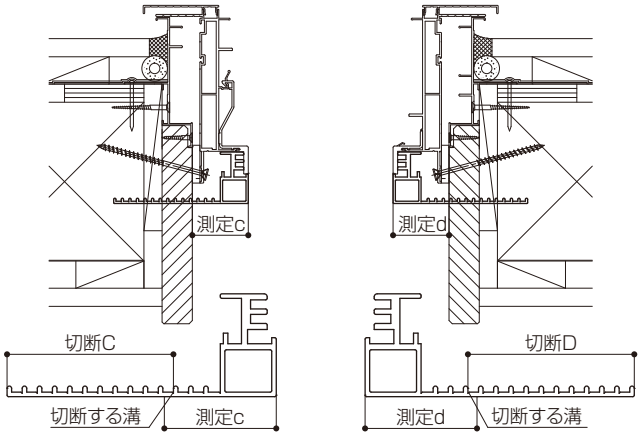
1アングルカバーの切断寸法の確認

新設サッシ枠アングルから既設窓枠までのa～dを測定し、切断する溝を決めてください。

上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
a	b	c	d







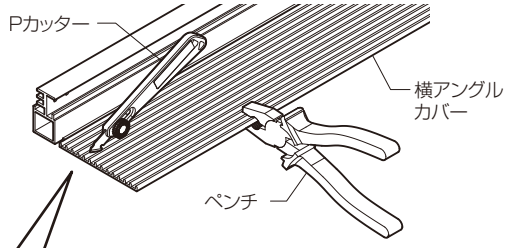
2アングルカバーの加工

お願い

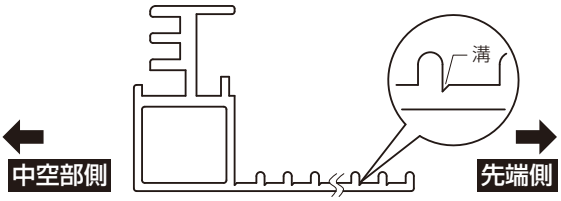
- ●切断面は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- ●アングルカバー表面が白化する可能性がありますので、十分に切目を入れ、切断する溝付近を持って、丁寧に折取ってください。

アングルカバーを決定した溝で切断してください。
※上下アングルカバーには組立て用の部品が付いています。

ポイント
下記【溝の位置】を参考に納まりにあう溝にPカッターで切目を入れ、ペンチなどで折取ってください。

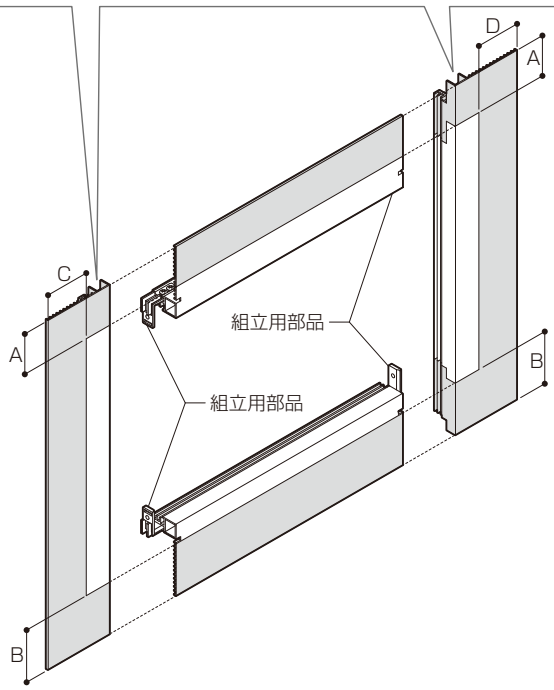


【溝の位置】
溝はリブの根元の中空部側にあります。



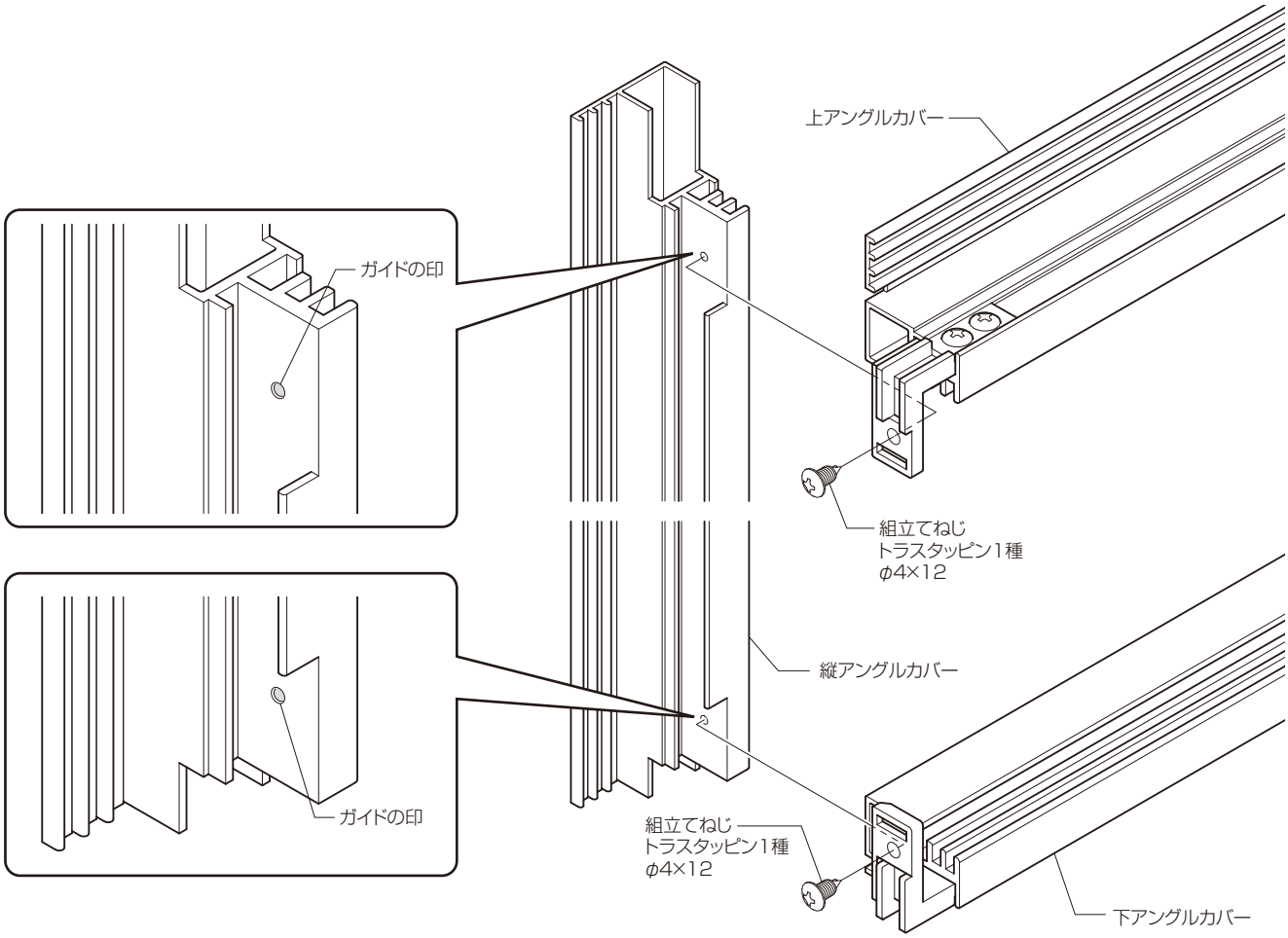
お願い

- ●縦アングルカバーのL寸切詰めは、上下アングルカバーの切断に合せて切断してください。切断した部材を当ててケガくと早く出来ます。



3アングルカバーの組立て

アングルカバーは、分割での取付けでも組立ててからの取付けでも、どちらでも出来ます。
現場の状況にあわせて選択してください。
※組立てる場合には、ガイドの印がされているので同梱のアングルカバー組立てねじを使用して組立てしてください。



※浴室 窓単独交換の場合は、P.7へ進んでください。

4アングルカバーの取付け（居室用の場合）

＜居室用の場合＞※浴室 窓単独交換の場合は、P.7へ進んでください。

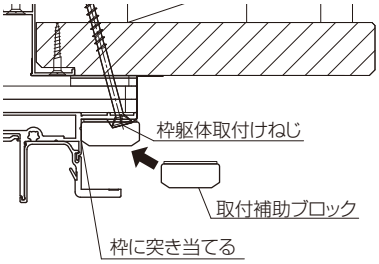
①新設サッシ枠に取付補助ブロックを、枠躯体取付けねじを避けた位置におおよそ均等になるように張付けてください。

※取付補助ブロックは上・下・縦の各辺3個所目安で入っています。

※アングルカバー端部キャップとの干渉を避けるために、上下の取付補助ブロックは縦枠アングルより50mm離して取付けしてください。

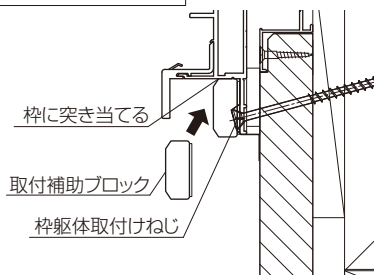
●上断面図

標準枠･ブリッジ枠･TWタイプ

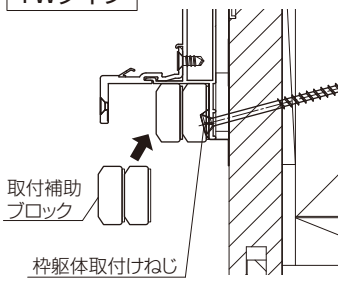


●縦断面図

標準枠･ブリッジ枠

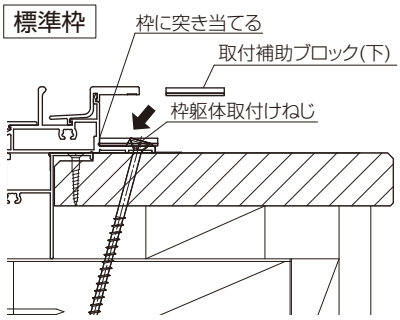


TWタイプ

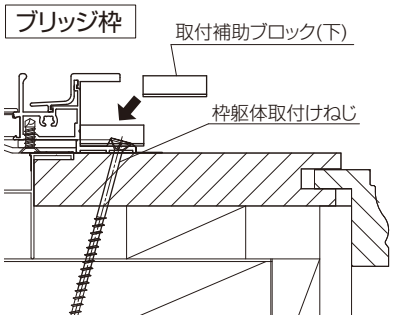


●下断面図

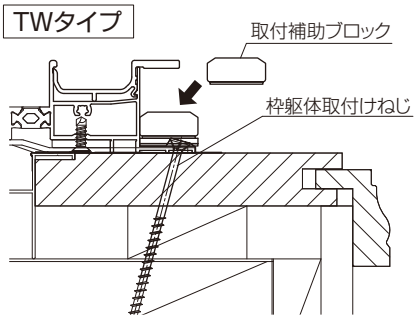
標準枠



ブリッジ枠



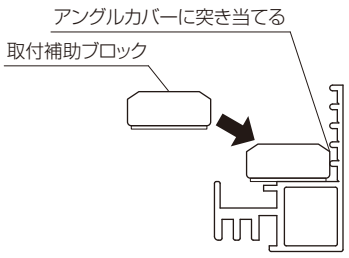
TWタイプ



※気密テープの張付け状態により平面が出ていない場合は、アングルカバーに張付けてください。

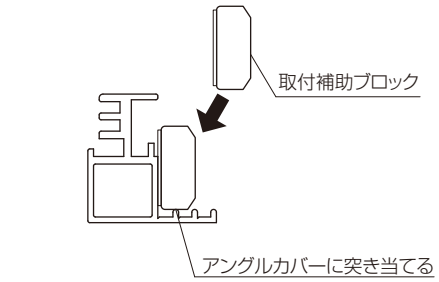
●上アングルカバー

標準枠･ブリッジ枠･TWタイプ

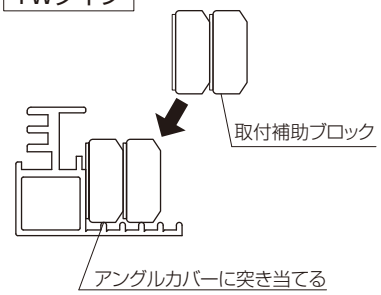


●縦アングルカバー

標準枠･ブリッジ枠

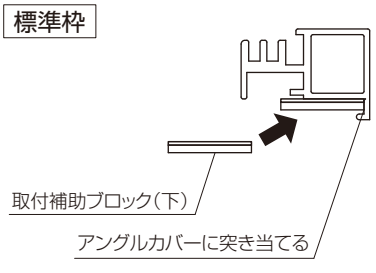


TWタイプ

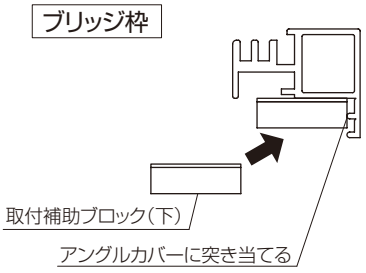


●下アングルカバー

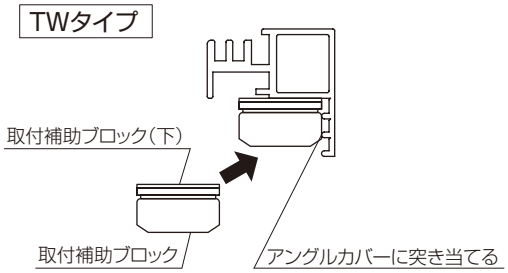
標準枠



ブリッジ枠

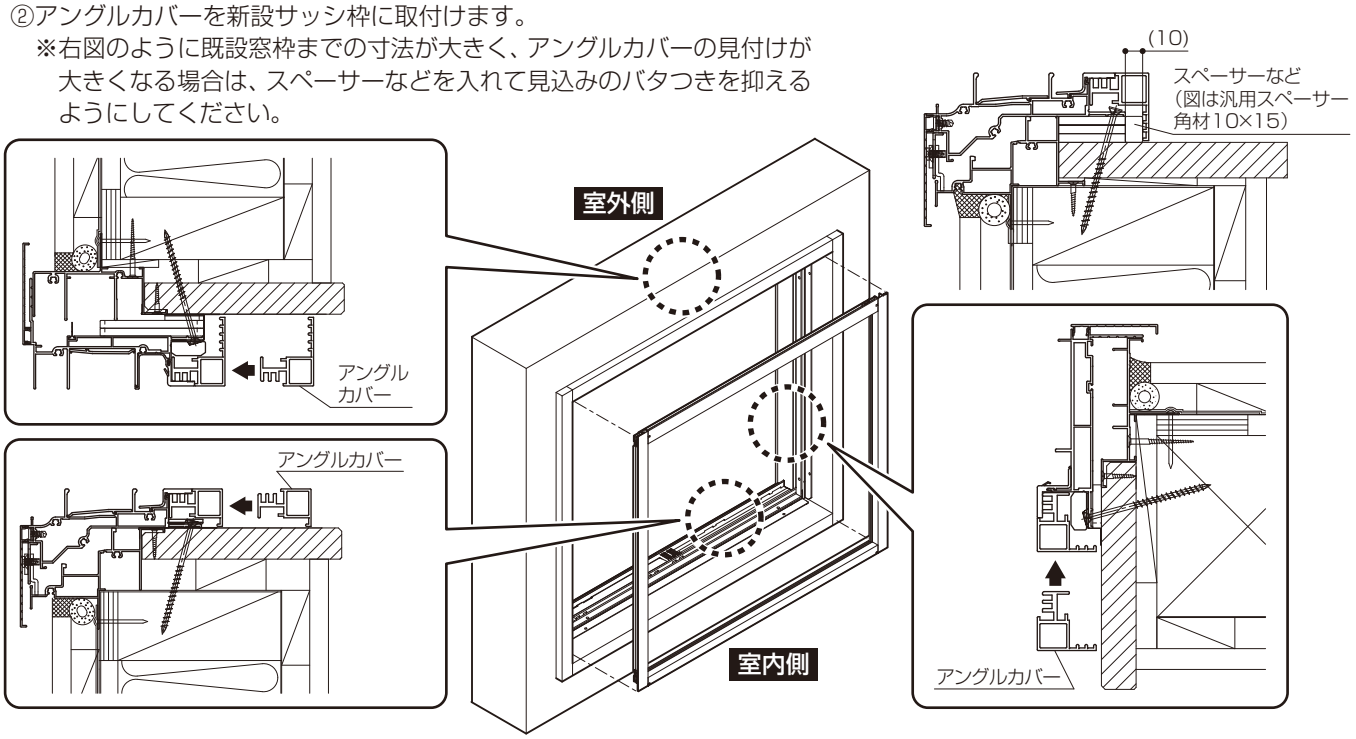


TWタイプ

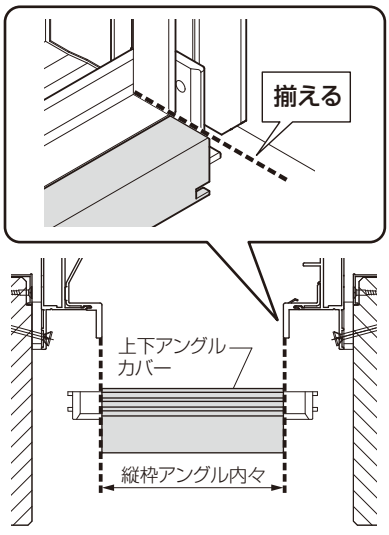


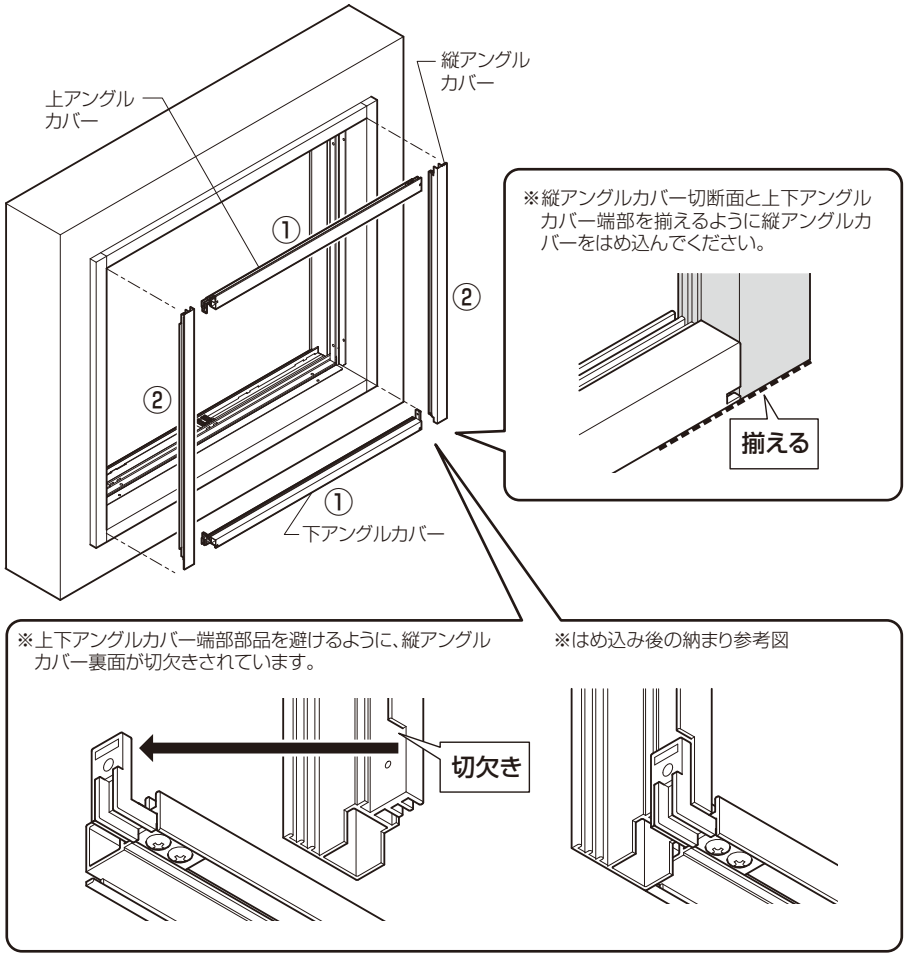
❹アングルカバーの取付け（居室用の場合）（つづき）

②アングルカバーを新設サッシ枠に取付けます。
※右図のように既設窓枠までの寸法が大きく、アングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを入れて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。



分割して取付ける場合は、上下アングルカバー→縦アングルカバーの順に取付けます。上下のアングルカバーは、新設サッシ縦枠アングル内々に左右均等になるように取付けます。





❹アングルカバーの取付け（居室用の場合）（つづき）

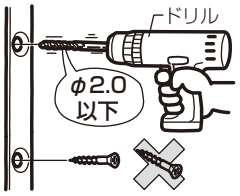
③新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴（φ1.5～2）をあけ、取付けねじで固定してください。

⚠注　意

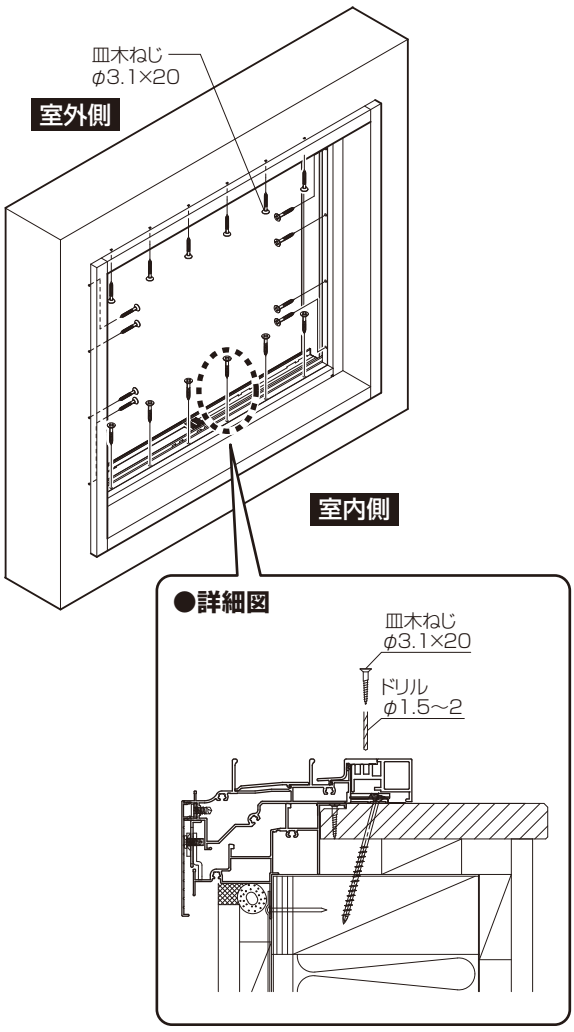
●ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、0.5N・m {5kgf・cm}程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

お願い

●ねじはまっすぐにねじ込んでください。



※居室用の場合は、P.10へ進んでください。



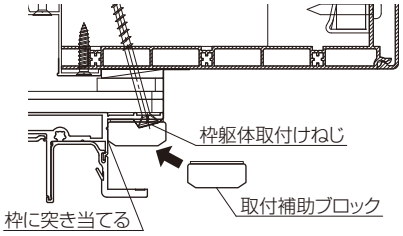
4アングルカバーの取付け（浴室 窓単独交換の場合）

<浴室 窓単独交換の場合>

①新設サッシ枠に取付補助ブロックを、枠躯体取付けねじを避けた位置におおよそ均等になるように張付けてください。
※取付補助ブロックは上・下・縦の各辺3個目安で入っています。
※アングルカバー端部キャップとの干渉を避けるために、上下の取付補助ブロックは縦枠アングルより50mm離して取付けしてください。

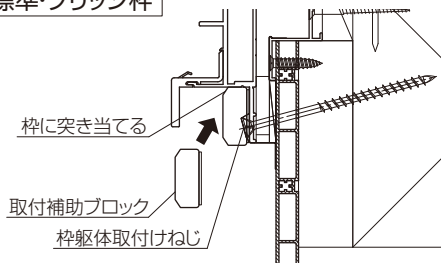
●上断面図

標準・ブリッジ枠



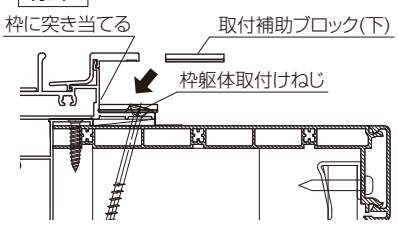
●縦断面図

標準・ブリッジ枠

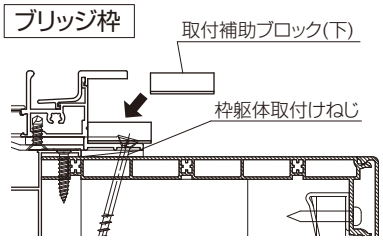


●下断面図

標準



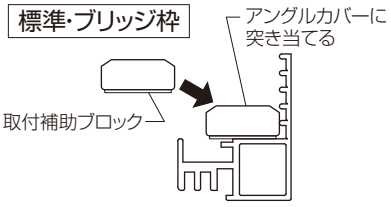
ブリッジ枠



※気密テープの張付け状態により平面性が出ていない場合は、アングルカバーに張付けてください。

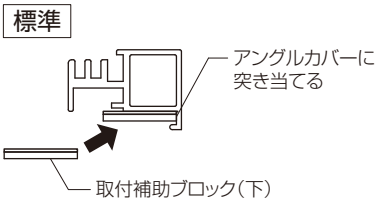
●上アングルカバー

標準・ブリッジ枠

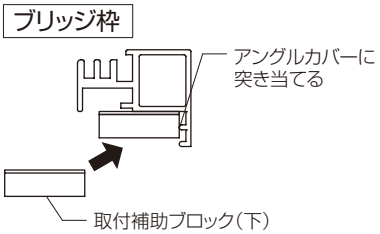


●下アングルカバー

標準

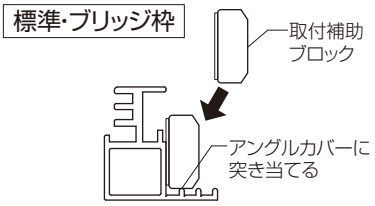


ブリッジ枠

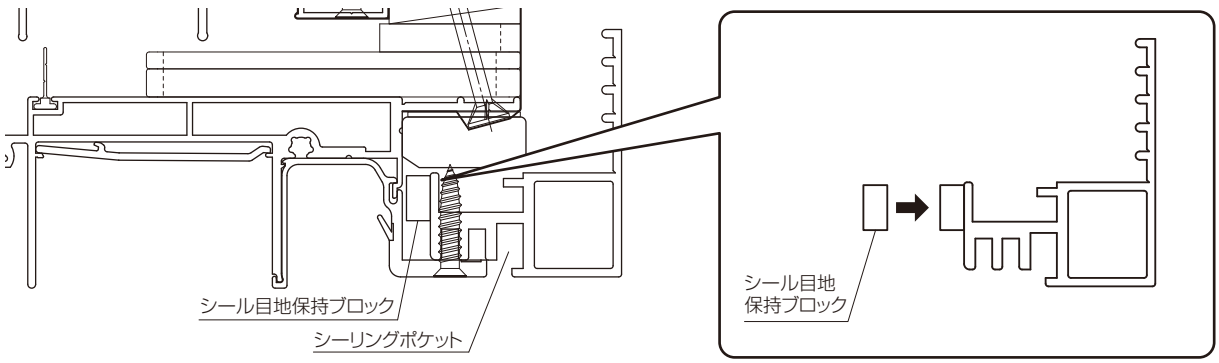


●縦アングルカバー

標準・ブリッジ枠

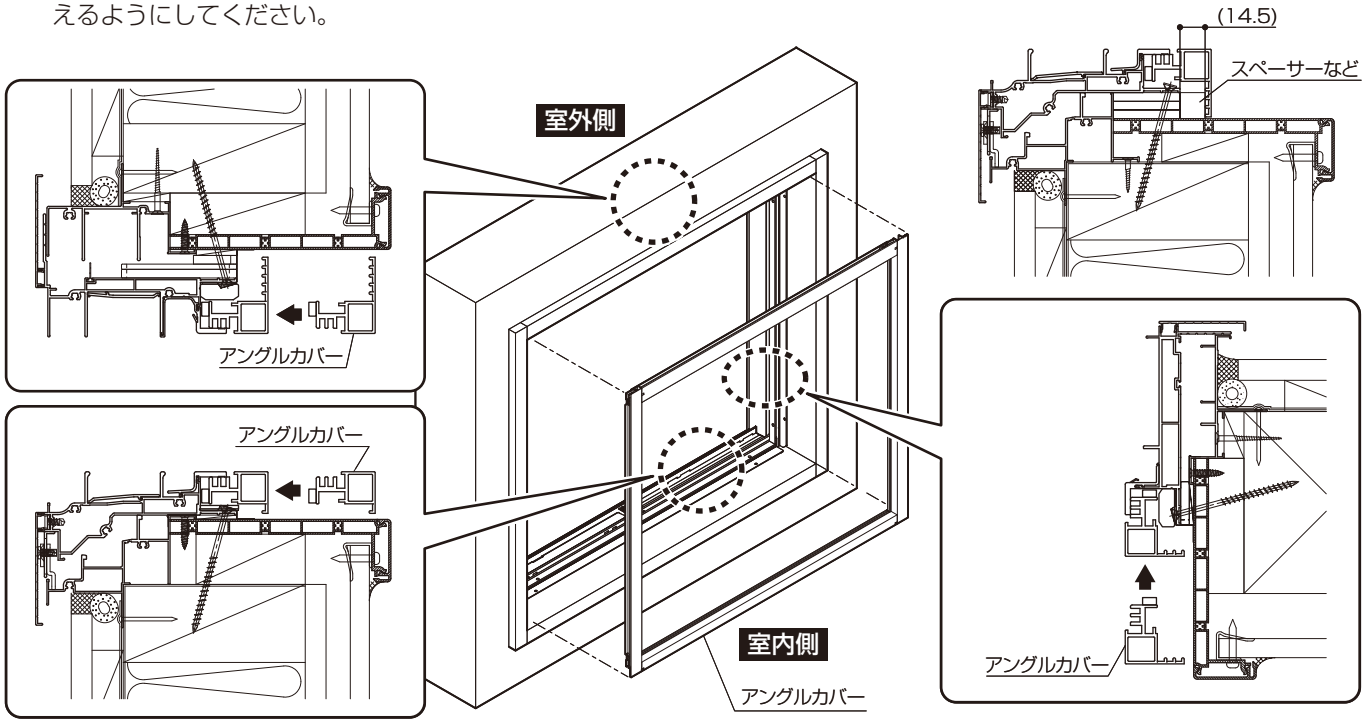


②新設サッシ枠とアングルカバー間の止水のため、アングルカバーにシール目地保持ブロックをおおよそ均等になるように張付けてください。
※シール目地保持ブロックは上・下・縦の各辺3ヶ目安で入っています。

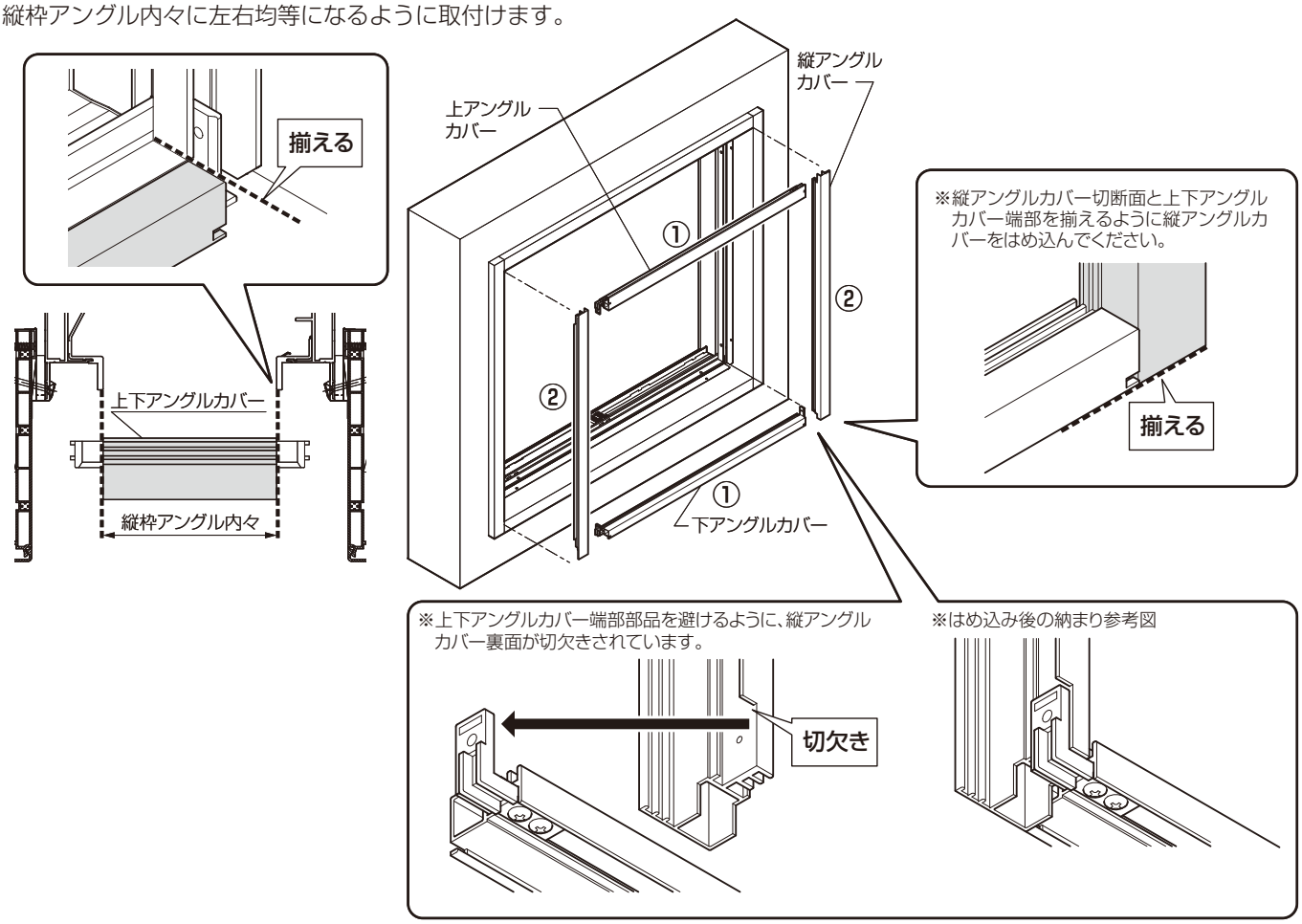


4アングルカバーの取付け（浴室 窓単独交換の場合）（つづき）

③アングルカバーを新設サッシ枠に取付けます。
※右図のように既設窓枠までの寸法が大きく、アングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを入れて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。



分割して取付ける場合は、上下アングルカバー→縦アングルカバーの順に取付けます。上下のアングルカバーは、新設サッシ縦枠アングル内々に左右均等になるように取付けます。



❹アングルカバーの取付け（浴室 窓単独交換の場合）（つづき）

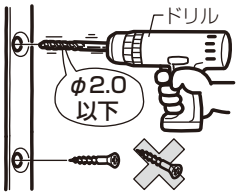
④新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴（φ1.5～2）をあけ、取付けねじで固定してください。

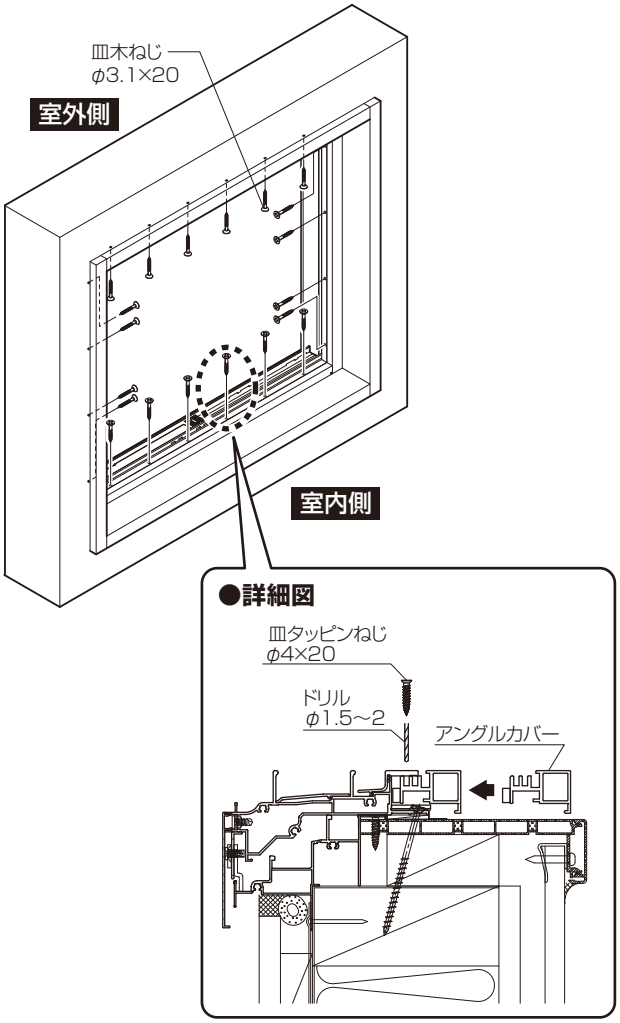
⚠注　意

●ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、0.5N・m {5kgf・cm}程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

お願い

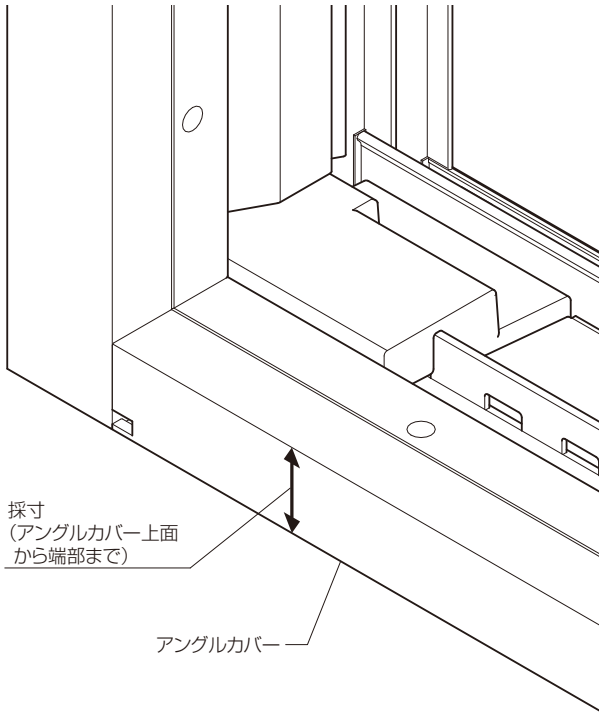
●ねじはまっすぐにねじ込んでください。



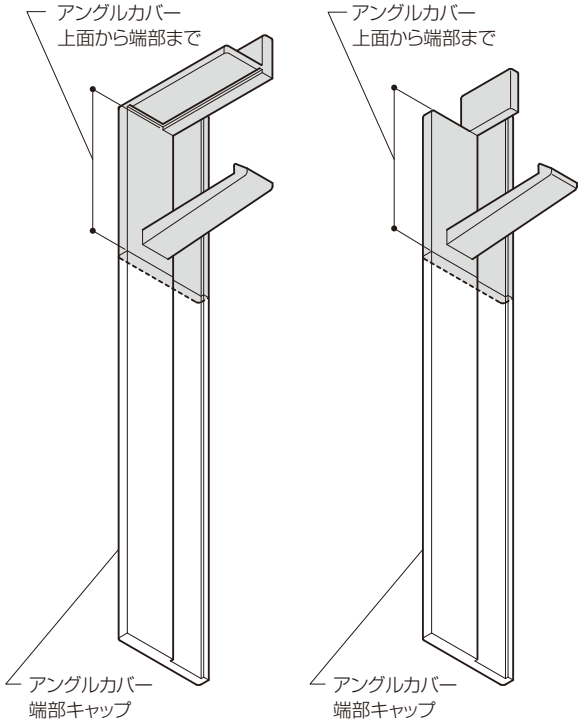


5アングルカバー端部キャップの加工（見切材なしの場合）

※見切材ありの場合は、P.14へ進んでください。
端部キャップをアングルカバーに合せて切断してください。



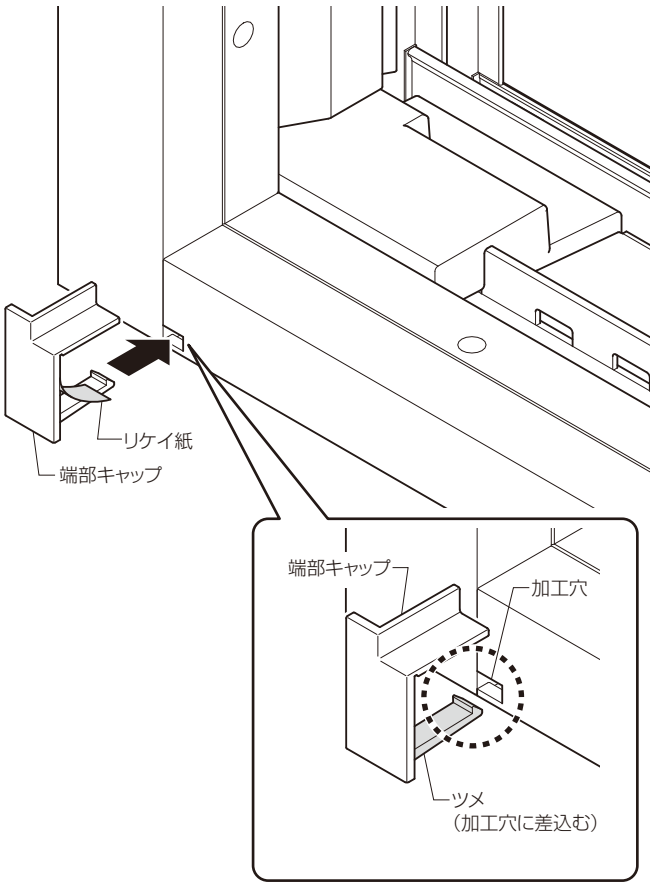
●居室仕様
縦・横すべり出し窓
カムラッチ 横引き
ロール網戸の場合



※横引きロール網戸を使用しない場合は、FIX窓minサイズの
アングルカバー部品セットを別途手配してください。
※浴室仕様の場合は、上記左の端部キャップが同梱されています。
網戸に干渉する箇所は、切断して取付けしてください。

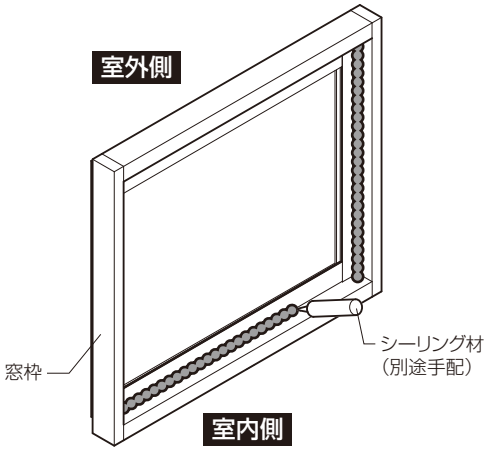
6アングルカバー端部キャップの取付け（見切材なしの場合）

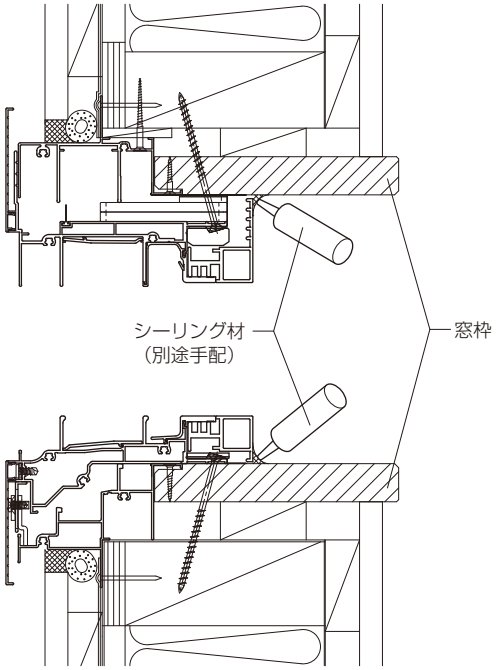
端部キャップのリケイ紙をはがして、端部加工穴に差込み、
張付けてください。

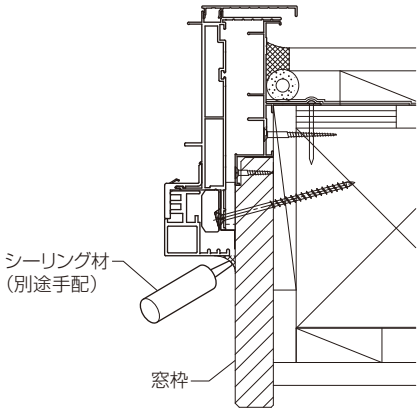


7アングルカバーのシーリング処理（見切材なしの場合）

①窓枠とアングルカバーのすき間をシーリング処理してください。

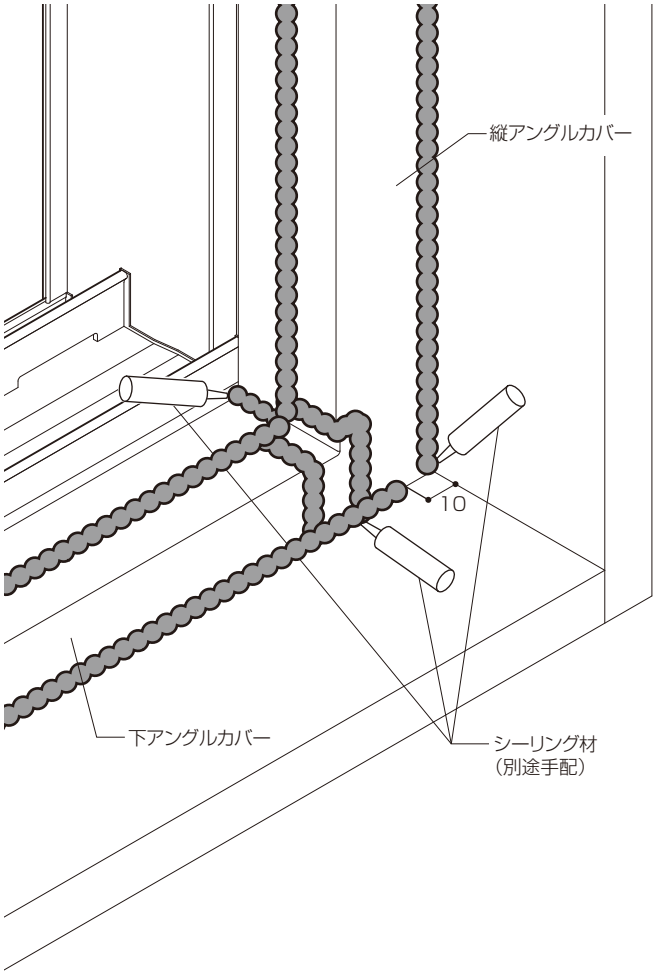


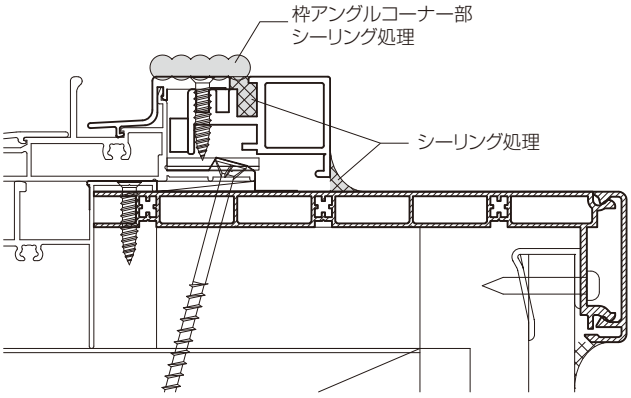




■浴室 窓単独交換の場合

排水経路を確保するため、アングルカバーの下側両端部10mmはシーリングしないでください。

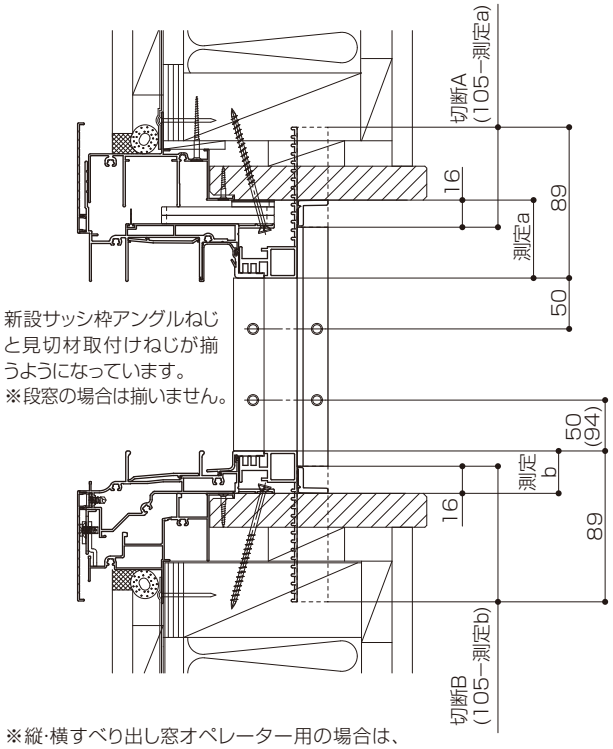




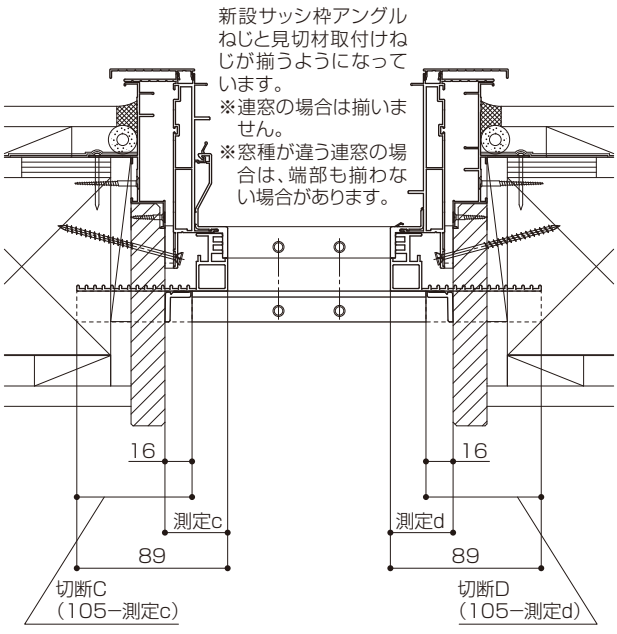
8見切材の切断寸法の確認（見切材ありの場合）

1で測定したa ～dから、切断A ～Dを決めてください。

	上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
採寸	a	b	c	d
切断	A(105−a)	B(105−b)	C(105−c)	D(105−d)



※縦･横すべり出し窓オペレーター用の場合は、新設サッシに合せて端部からの穴位置が異なります。（上記（ ）寸法）、端部からの寸法が小さい方が上側になり、穴加工裏面に「上」シールが張付けてあります。

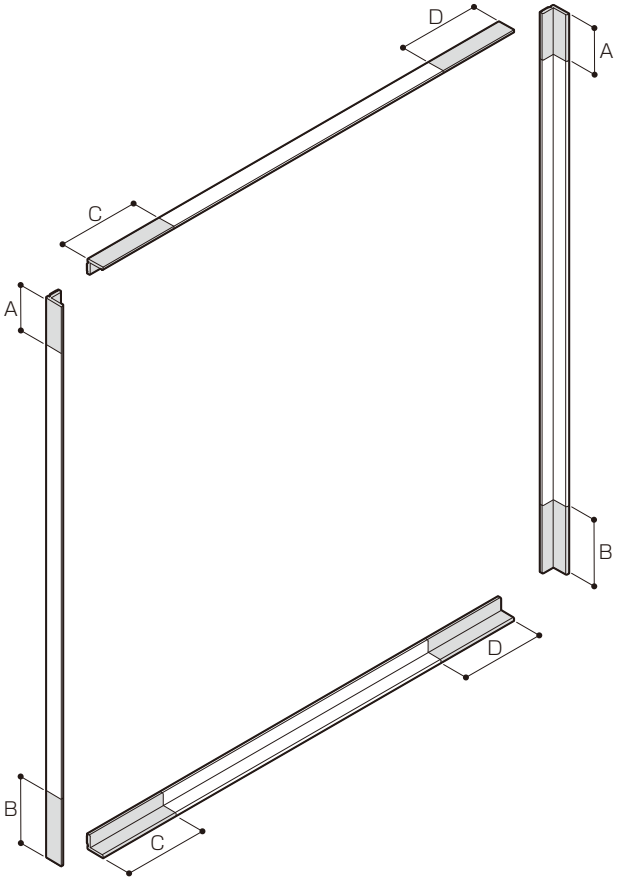


9見切材の加工

見切材を決定したA ～Dに合せて切断してください。

お願い

- ●切断小口は鋭利は部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- ●見切材は上下寸法、左右寸法をそれぞれ端部から切断機などで切断してください。合計の切断寸法で片側から切断すると、新設サッシ枠のアングルねじと見切材固定ねじの位置にズレが発生します。



⑩見切材の取付け

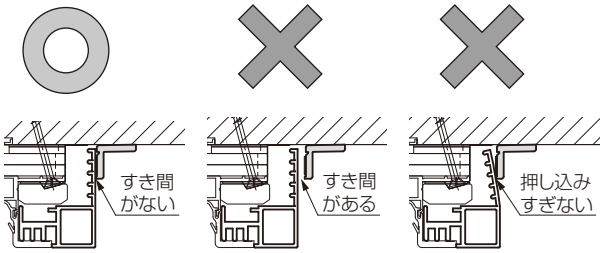
①見切材のリケイ紙をはがして、窓枠に当ててスライドさせながらアングルカバーとすき間が出ないようにアングルカバーに押し付けて圧着してください。

※新設サッシ枠のアングルねじ穴と見切材の取付け穴位置を合わせて固定します。

②圧着したら、取付け穴に合せて窓枠に下穴(φ1.5～2)をあけ、取付けねじでねじ止めします。

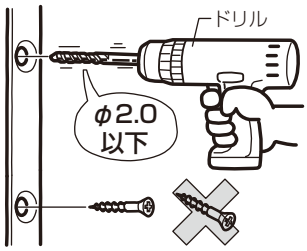
お願い

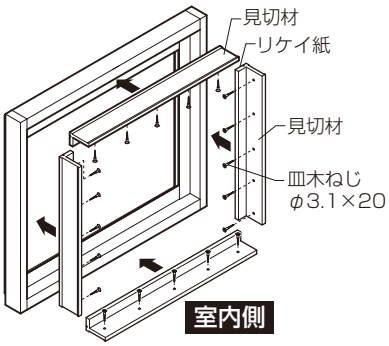
●見切材はすき間なく取付けてください。
その際、見切材を押し込んで、アングルカバーが曲がらないようにしてください。

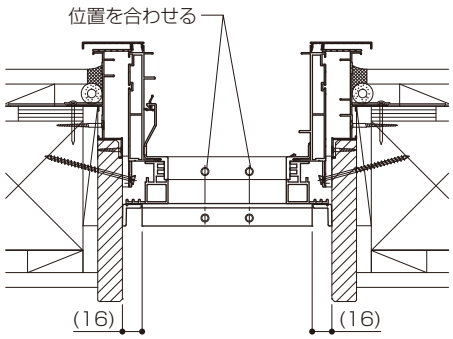


●ねじはまっすぐにねじ込んでください。

●ねじの締めすぎに注意してください。

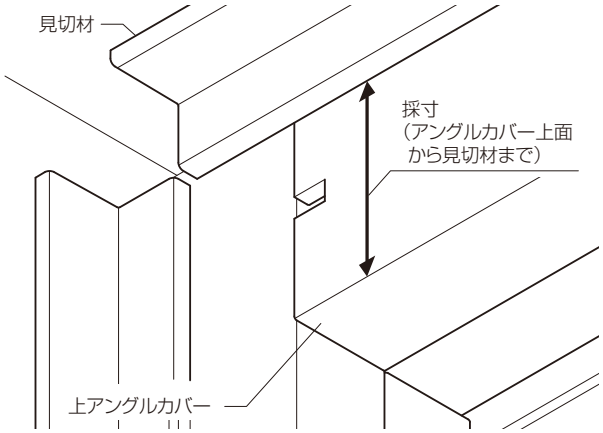


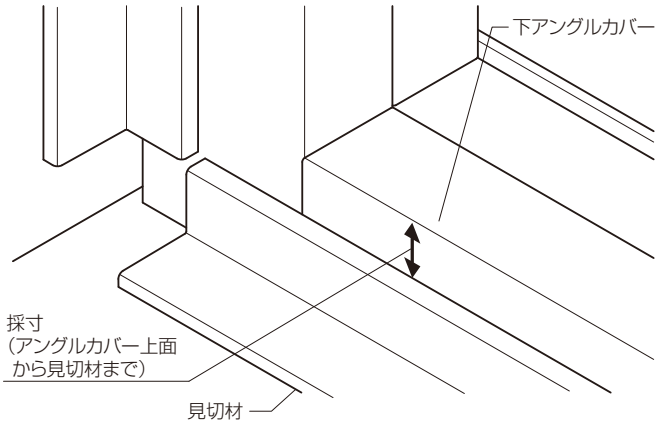


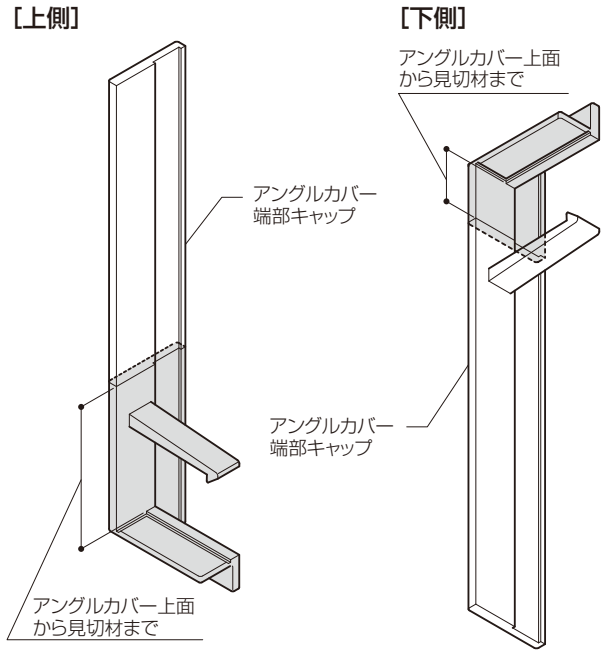


⑪アングルカバー端部キャップの加工(見切材ありの場合)

端部キャップをアングルカバー・見切材に合せて切断してください。





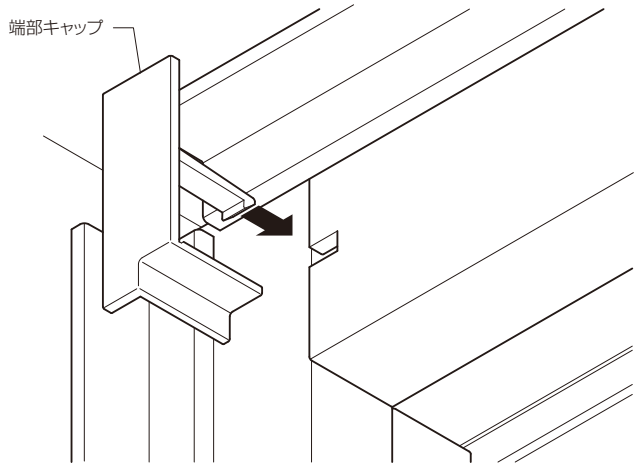


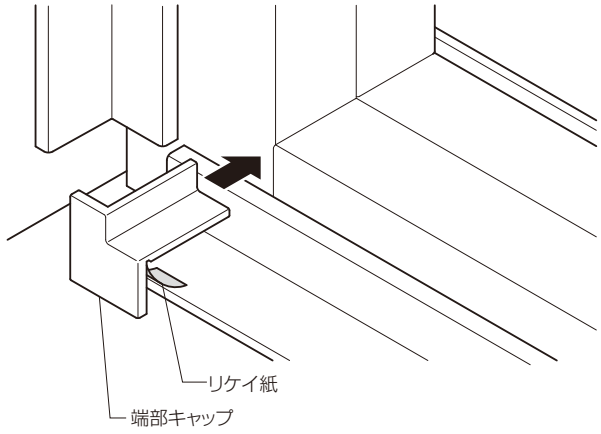
※図は通常のアングルカバー端部キャップを示します。
縦･横すべり出し窓カムラッチ横引きロール網戸の場合は、形状が異なりますが手順は同じです。

※横引きロール網戸を使用しない場合は、FIX窓minサイズのアングルカバー部品セットを別途手配してください。

12アングルカバー端部キャップの取付け（見切材ありの場合）

端部キャップのリケイ紙をはがして、端部加工穴に差込み、張付けてください。





※見付け寸法が小さい場合は、両面テープのみでの取付けになります。

13見切材コーナーピースの取付け（両面テープ仕様）

①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。

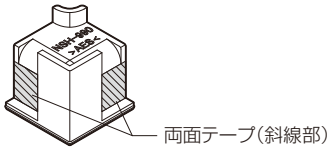
※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。

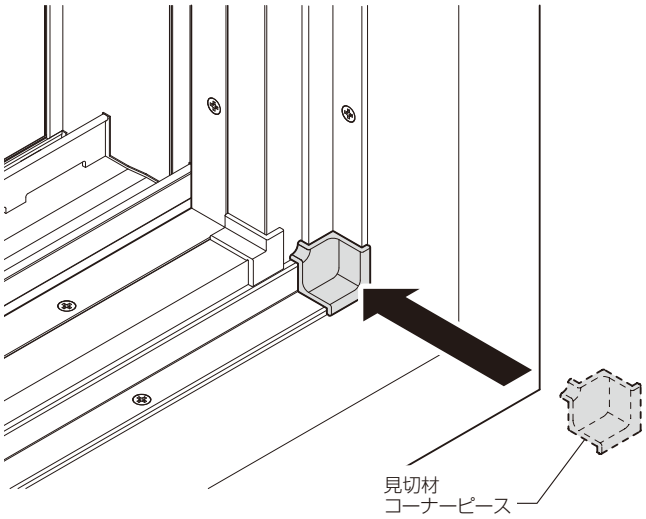
②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。

※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。

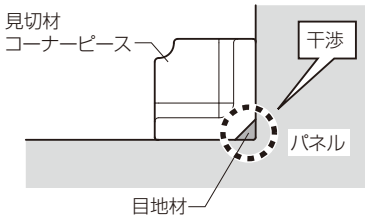
③窓枠に強く押付けて圧着します。

※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ（現場手配/厚さ0.3mm以下）を張付けて、見切材に圧着してください。

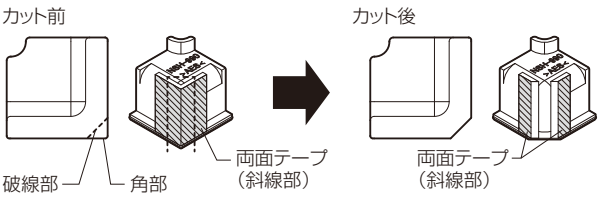




※キッチンなどでパネルのコーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部（下図破線部）をカットして干渉しないようにしてください。



【見切材コーナーピースカット位置】



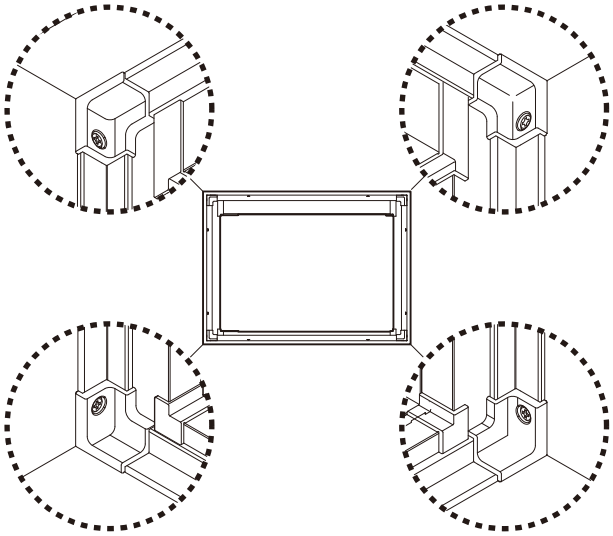
※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。

⑭見切材コーナーピースの取付け（ねじ止め仕様）

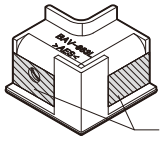
①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。

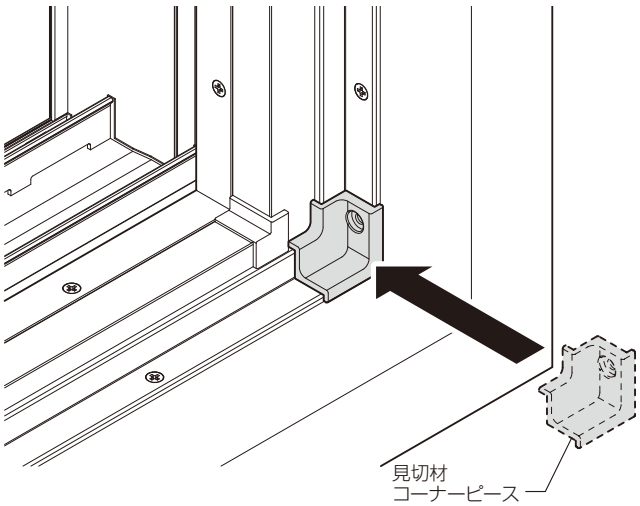
【推奨取付図】

※サイズが小さく、取付しづらい場合は取付向きを変更してください

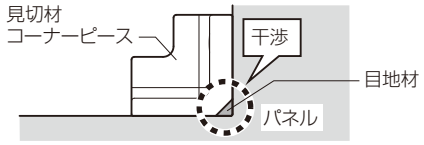


③窓枠に強く押付けて圧着します。
※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ（現場手配/厚さ0.3mm以下）を張付けて、見切材に圧着してください。

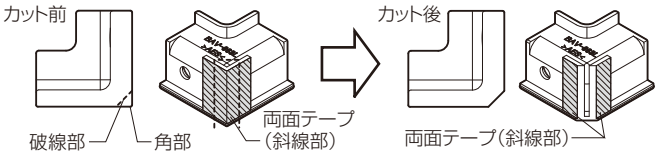




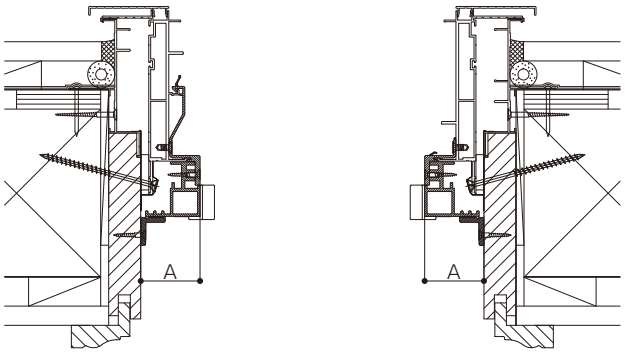
※キッチンなどでパネルのコーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部（下図破線部）をカットして干渉しないようにしてください。

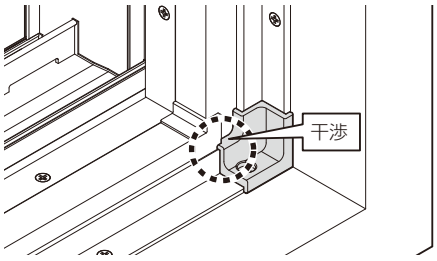


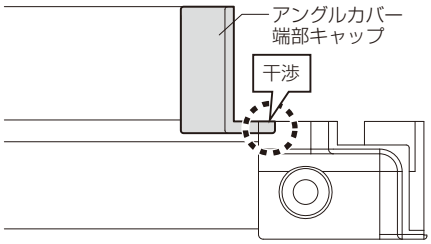
【見切材コーナーピースカット位置】



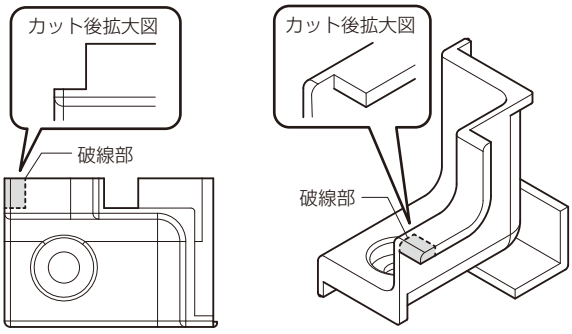
※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。
※A寸法≦36mmの場合はアングルカバー端部キャップと干渉します。干渉する場合は見切材コーナーピースの端部（下図破線部）をカットして干渉しないようにしてください。





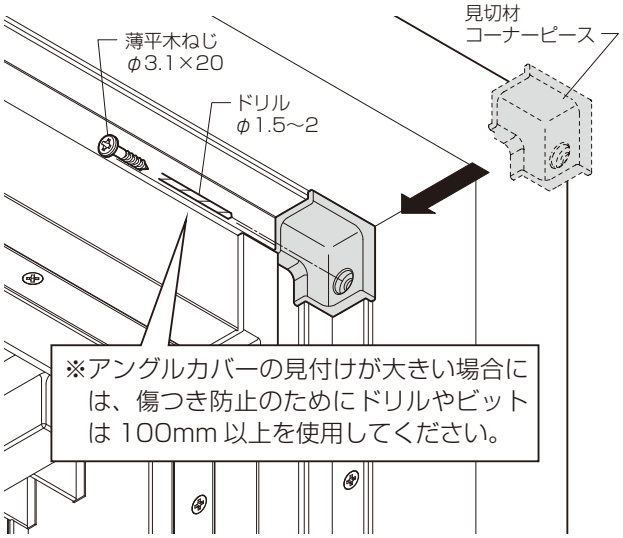


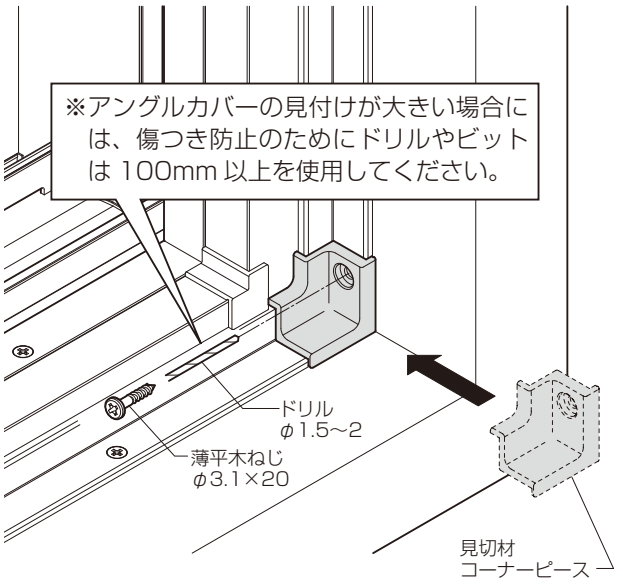
【見切材コーナーピースカット位置】



⑭見切材コーナーピースの取付け（ねじ止め仕様）（つづき）

④取付け穴に合せて見切材と窓枠に下穴（φ1.5～2）をあけ、取付けねじでねじ止めします。
※ねじ止め時に傷つけないためにアングルカバー・見切材を養生等で保護してください。

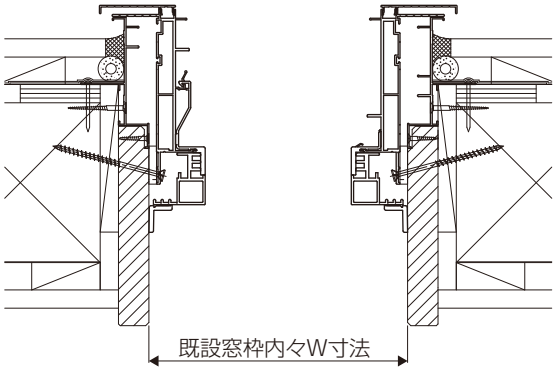




※テラス用アタッチメント付の場合

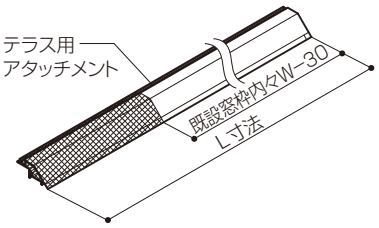
1テラス用アタッチメントの加工

①既設窓枠の内々寸法を採寸し、テラス用アタッチメントの長さを決めてください。



既設窓枠内々W	テラス用アタッチメント長さ （既設窓枠内々W-30）

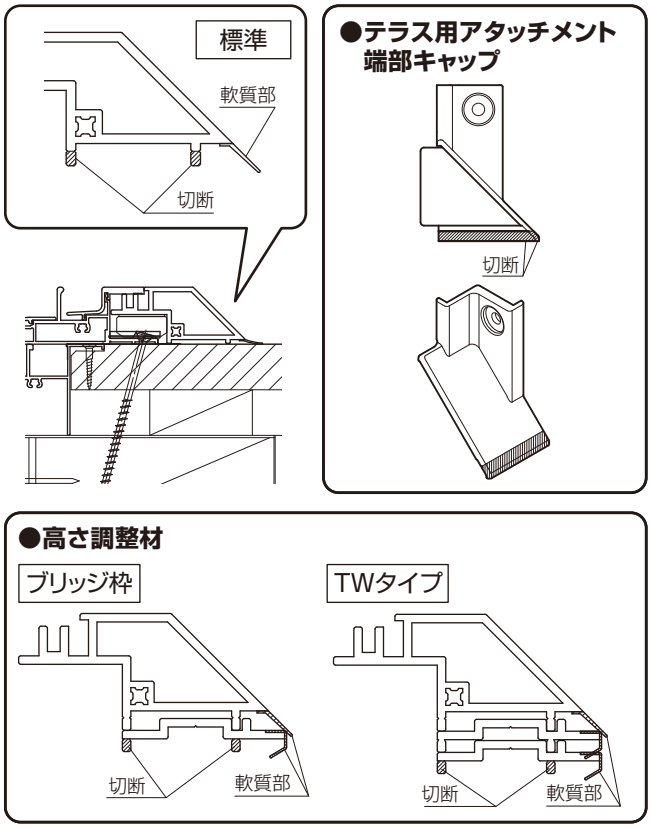
②テラス用アタッチメントを決定した長さに切断してください。



●しゃくり付きの場合

窓枠・床がしゃくり付きの場合、高さを合わせるため、図を参考に組立てる前に、部材、部品を切断してください。切断時に軟質部を切らないようにしてください。

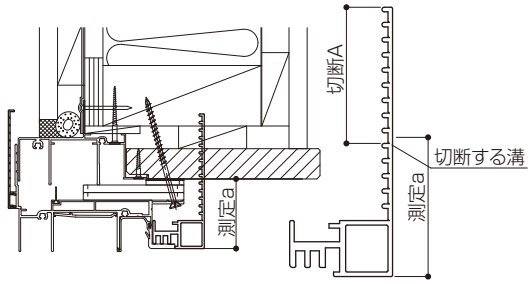
・テラス用アタッチメントを溝に合せてPカッターで数回切れ目を入れ、ペンチなどで折るようにして形材を切断してください。
・テラス用アタッチメント端部キャップを下端から3mmの溝に合せてカッターなどで切断してください。

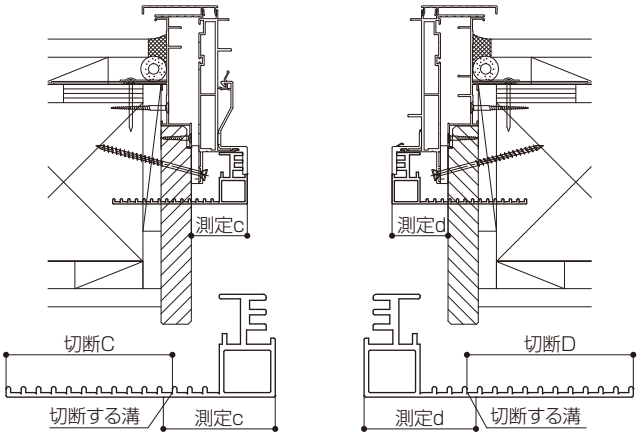


2アングルカバーの切断寸法の確認

新設サッシ枠アングルから既設窓枠までのa,c,dを測定し、切断する溝を決めてください。

上枠	左縦枠	右縦枠
a	c	d





3アングルカバーの加工

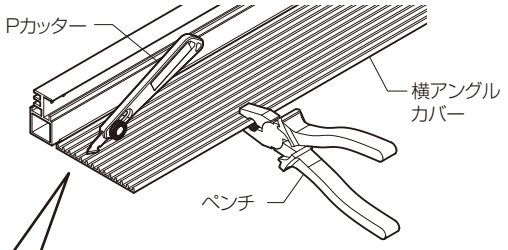
お願い

- ●切断面は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- ●アングルカバー表面が白化する可能性がありますので、十分に切目を入れ、切断する溝付近を持って、丁寧に折取ってください。

アングルカバーを決定した溝で切断してください。

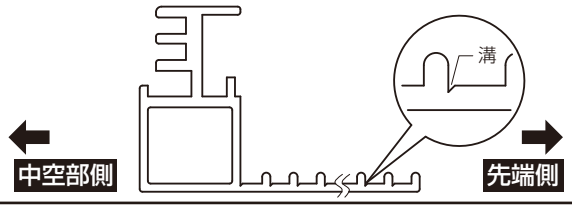
ポイント

下記【溝の位置】を参考に納まりにあう溝にPカッターで切目を入れ、ペンチなどで折取ってください。



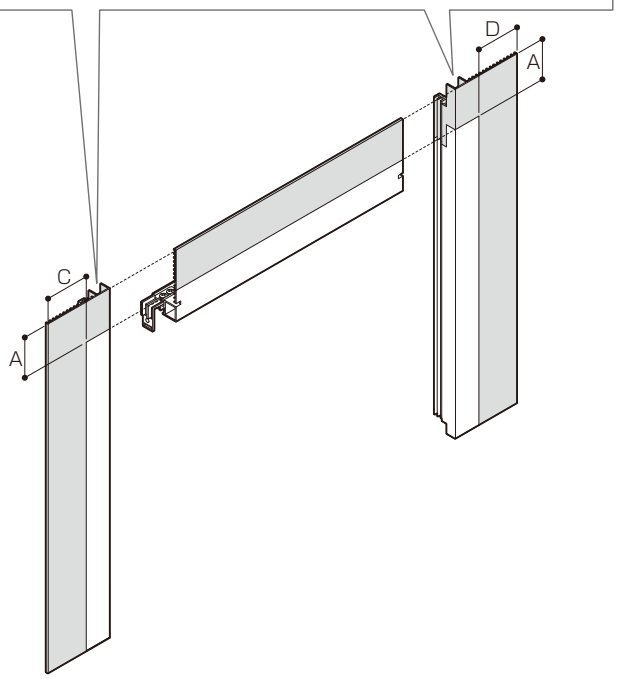
【溝の位置】

溝はリブの根元の中空部側にあります。



お願い

- ●縦アングルカバーのL寸切詰めは、上アングルカバーの切断に合せて切断してください。切断した部材を当ててケガくと早く出来ます。

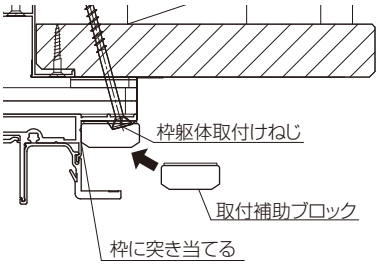


4アングルカバーの取付け

①新設サッシ枠に取付補助ブロックを、枠躯体取付けねじを避けた位置におおよそ均等になるように張付けてください。
※取付補助ブロックは、上・縦の各辺3個所に、下はアングルねじ数に足りるように入っています。
※アングルカバー端部キャップとの干渉を避けるために、上の取付補助ブロックは縦枠アングルより50mm離して取付けしてください。

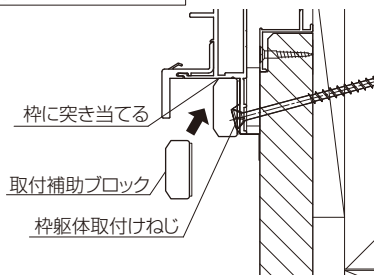
●上断面図

標準枠･ブリッジ枠･TWタイプ

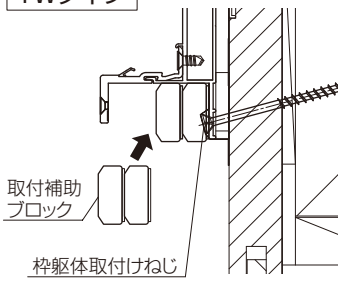


●縦断面図

標準枠･ブリッジ枠

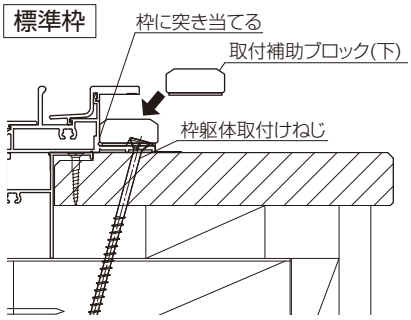


TWタイプ

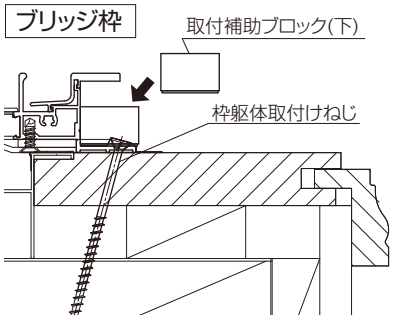


●下断面図

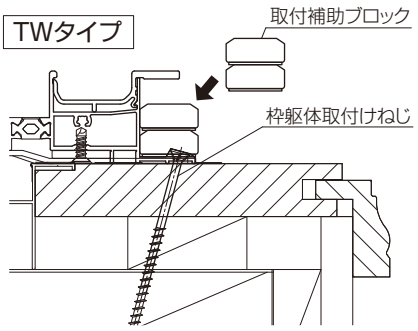
標準枠



ブリッジ枠



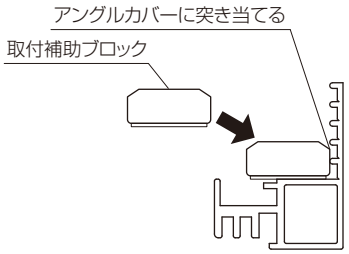
TWタイプ



※気密テープの張付け状態により平面が出ていない場合は、アングルカバーに張付けてください。

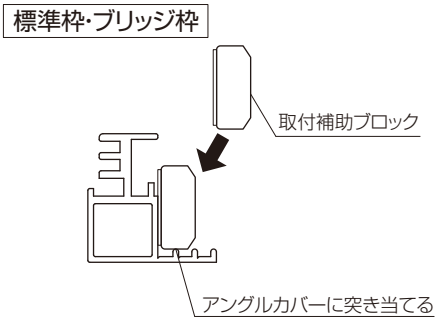
●上アングルカバー

標準枠･ブリッジ枠･TWタイプ

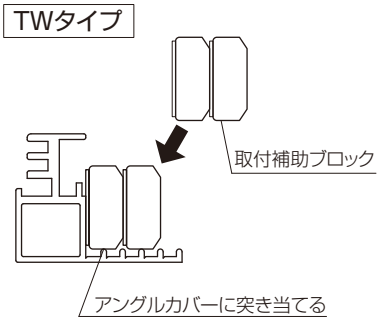


●縦アングルカバー

標準枠･ブリッジ枠

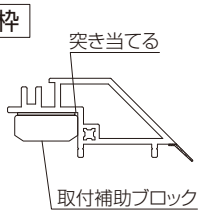


TWタイプ

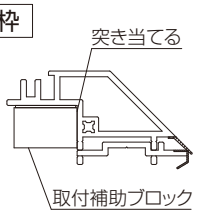


●テラス用アタッチメント

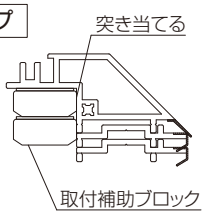
標準枠



ブリッジ枠

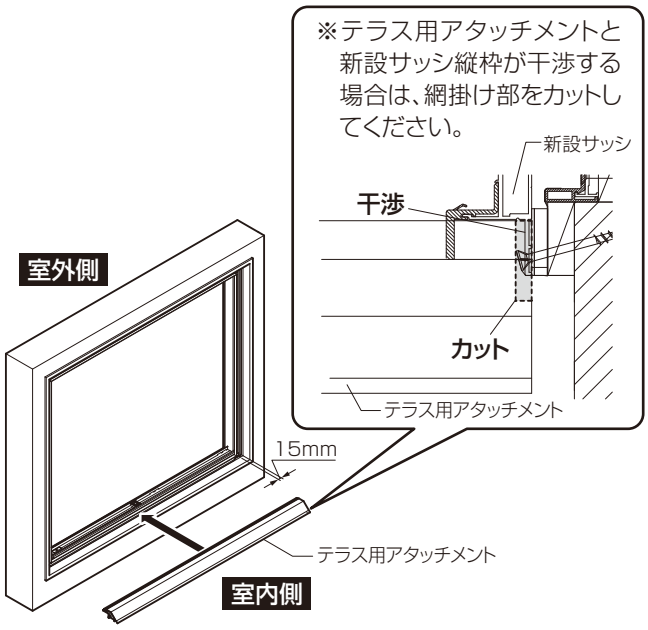


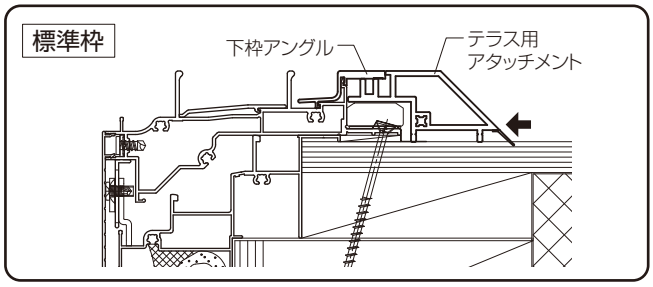
TWタイプ

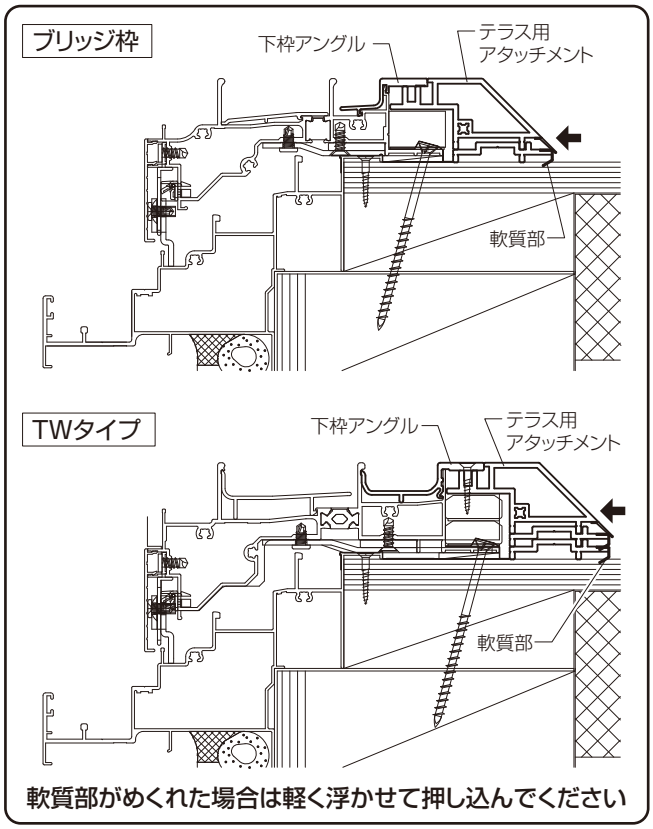


4アングルカバーの取付け（つづき）

②テラス用アタッチメントを新設サッシ下枠にはめ込みます。
（窓枠（縦）とのチリは片側15mm）







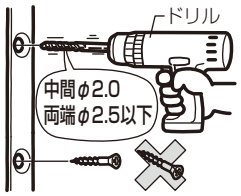
軟質部がめくれた場合は軽く浮かせて押し込んでください

⚠注　意

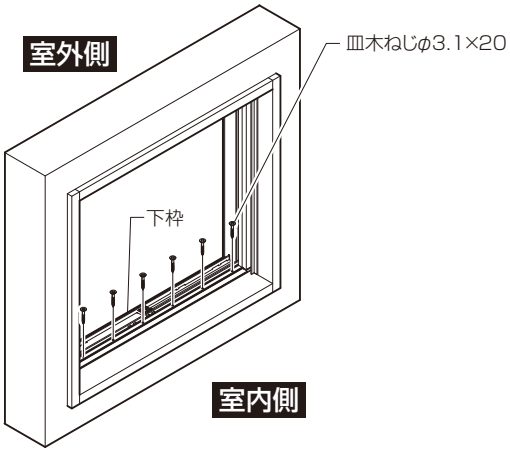
●ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、0.5N・m {5kgf・cm}程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

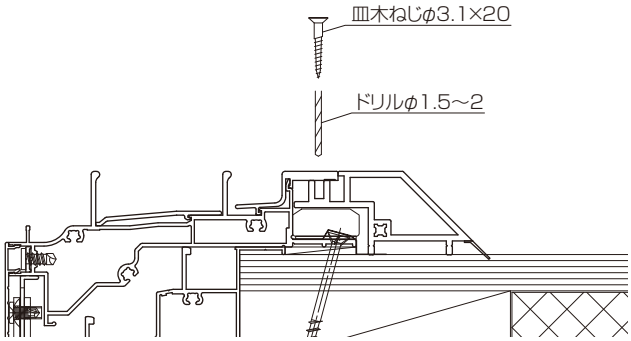
お願い

●ねじはまっすぐにねじ込んでください。



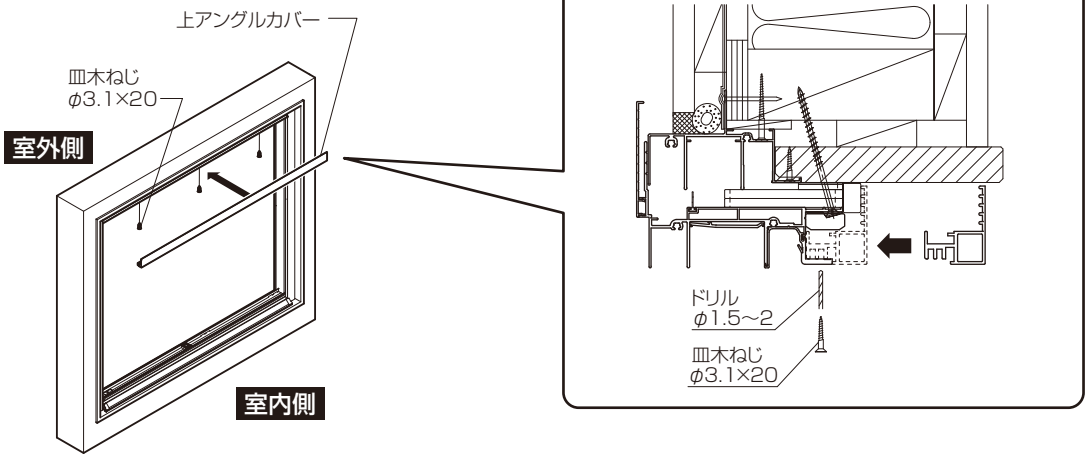
③新設サッシ下枠の取付け穴に合わせてテラス用アタッチメントに下穴（φ1.5～2）をあけ、皿木ねじφ3.1×20で固定してください。



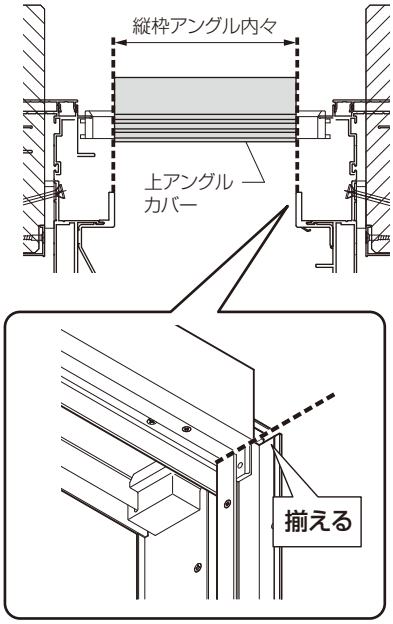


❹アングルカバーの取付け（つづき）

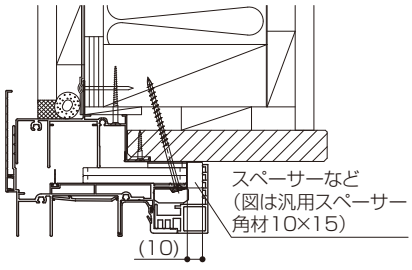
④上アングルカバーを新設サッシ縦枠アングル内々に左右均等になるように取付けます。
⑤新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴（φ1.5～2）をあけ、取付けねじで固定してください。
※アングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを取付けて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。



●上アングルカバーの取付け位置

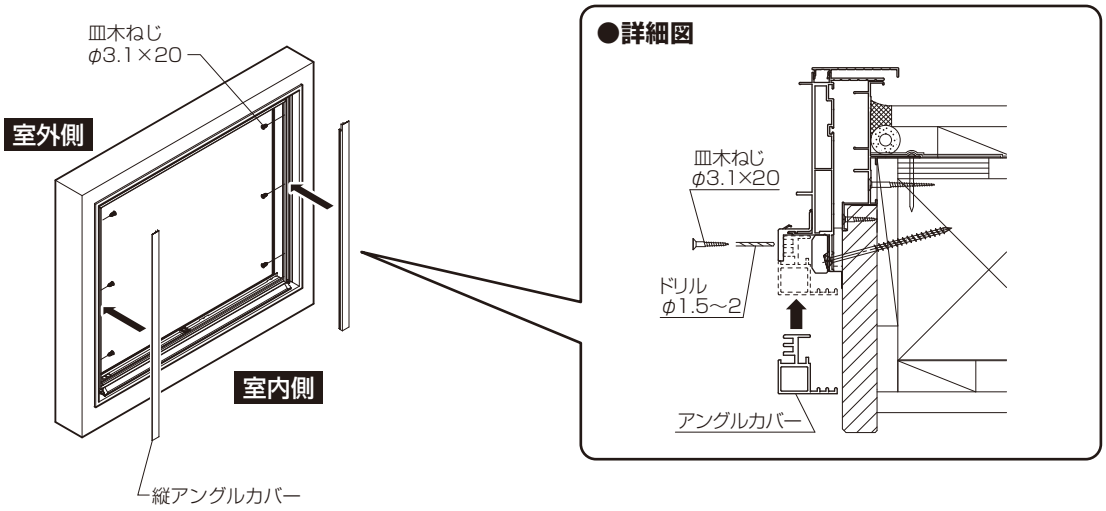


※アングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを取付けて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。



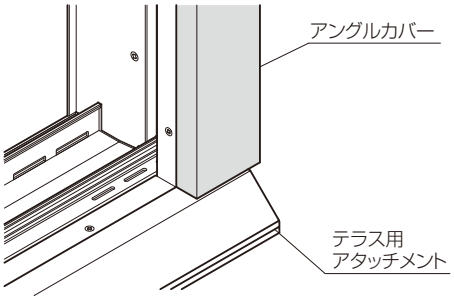
4アングルカバーの取付け（つづき）

⑥縦アングルカバーをテラス用アタッチメントに乗せるように新設サッシ枠にはめ込みます。
⑦新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴（φ1.5～2）をあけ、取付ねじで固定してください。
※アングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを取付けて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。

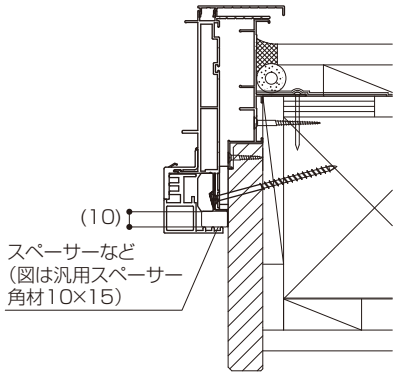


●縦アングルカバーの取付け（下部）

テラス用アタッチメントにアングルカバーを乗せ、新設サッシアングルにはめ込みます。

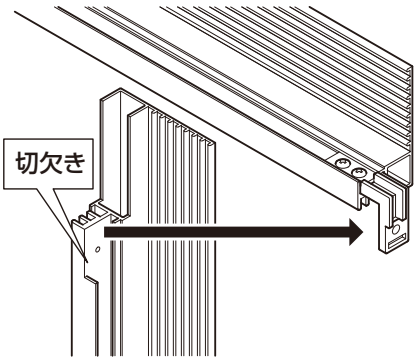


※アングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを取付けて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。

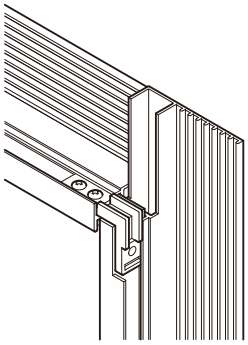


●縦アングルカバーの取付け（上部）

※上アングルカバー端部部品を避けるように、縦アングルカバー裏面が切欠きされています。



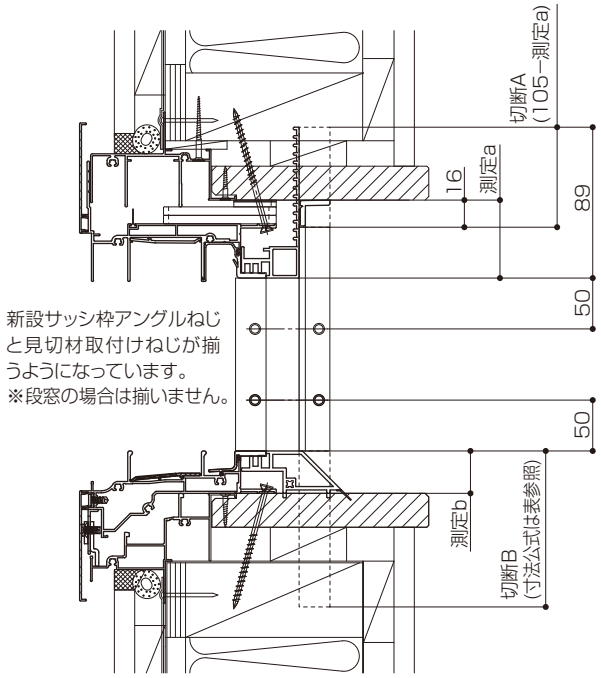
※はめ込み後の納まり参考図

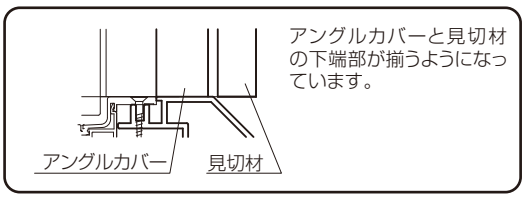


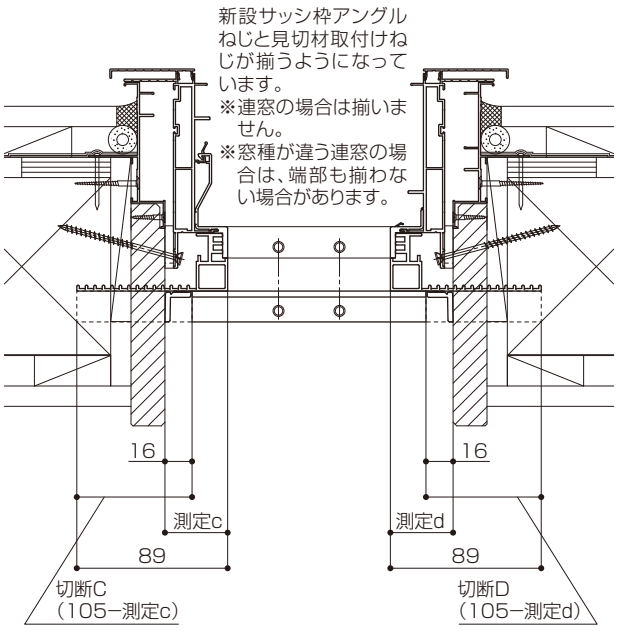
5見切材の切断寸法の確認

1で測定したa～dから、切断A～Dを決めてください。

	上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
採寸	a	b	c	d
切断	A(105-a)	B 標 準 枠 (117-b) B ブリッジ枠(122-b) B TWタイプ(127-b)	C(105-c)	D(105-d)





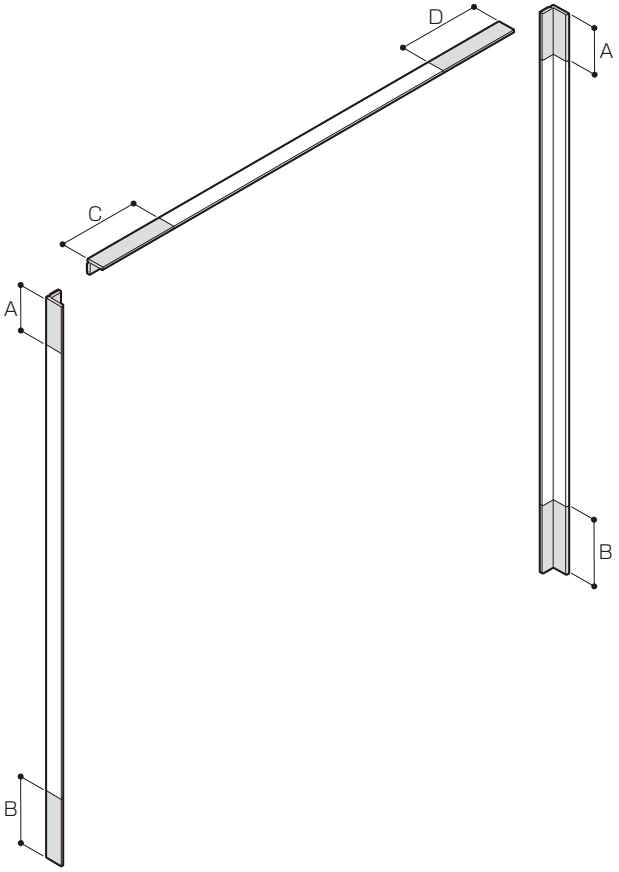


6見切材の加工

見切材を決定したA～Dに合せて切断してください。

お願い

- ●切断小口は鋭利は部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- ●見切材は上下寸法、左右寸法をそれぞれ端部から切断機などで切断してください。合計の切断寸法で片側から切断すると、新設サッシ枠のアングルねじと見切材固定ねじの位置にズレが発生します。



7見切材の取付け

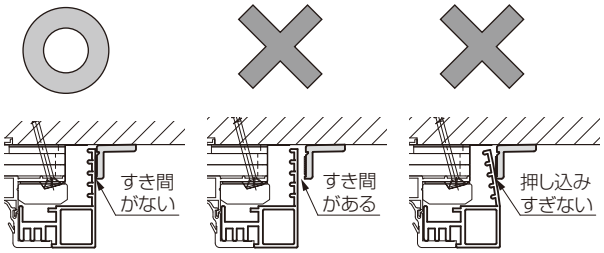
①見切材のリケイ紙をはがして、窓枠に当ててスライドさせながらアングルカバーとすき間が出ないようにアングルカバーに押し付けて圧着してください。

※新設サッシ枠のアングルねじ穴と見切材の取付け穴位置を合わせて固定します。

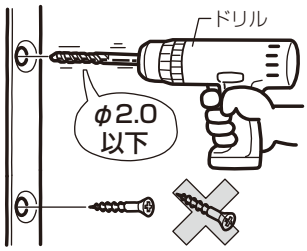
②圧着したら、取付け穴に合せて窓枠に下穴(φ1.5～2)をあけ、取付けねじでねじ止めします。

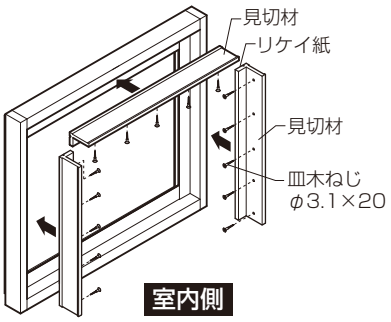
お願い

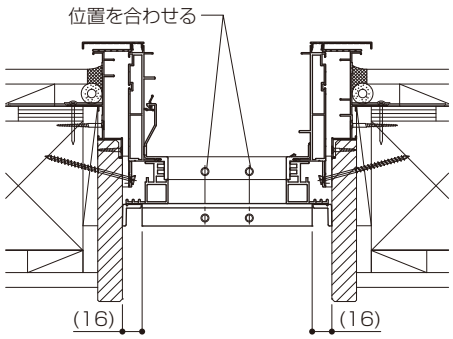
●見切材はすき間なく取付けてください。
その際、見切材を押し込んで、アングルカバーが曲がらないようにしてください。



●ねじはまっすぐにねじ込んでください。
●ねじの締めすぎに注意してください。



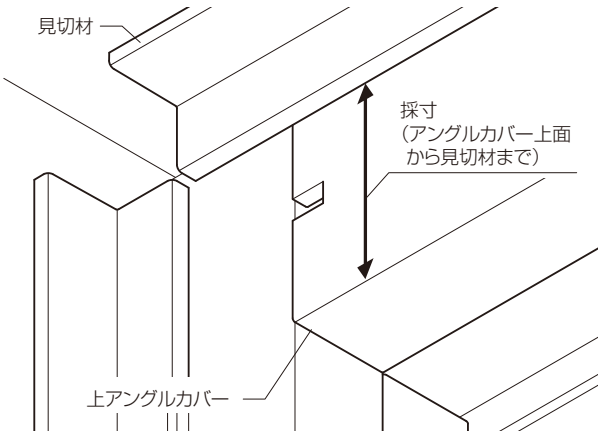




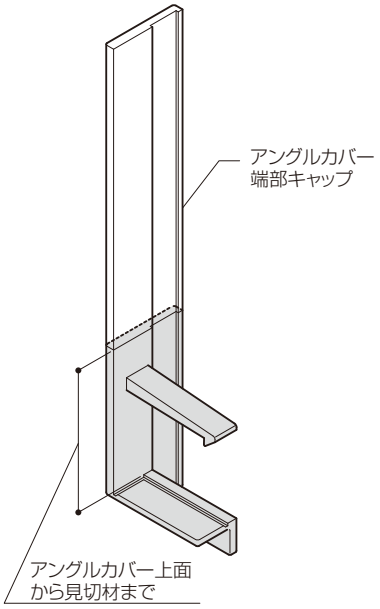
8アングルカバー端部キャップの加工と取付け

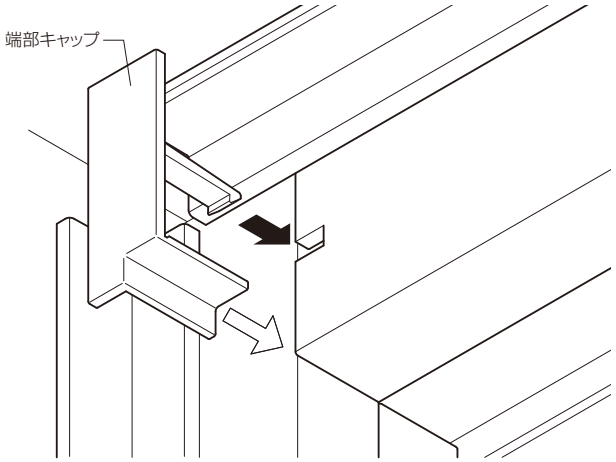
①端部キャップをアングルカバー・見切材に合せて切断してください。

②端部キャップのリケイ紙をはがして、端部加工穴に差込み、張付けてください。



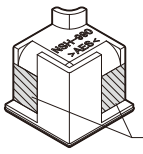
[上側]

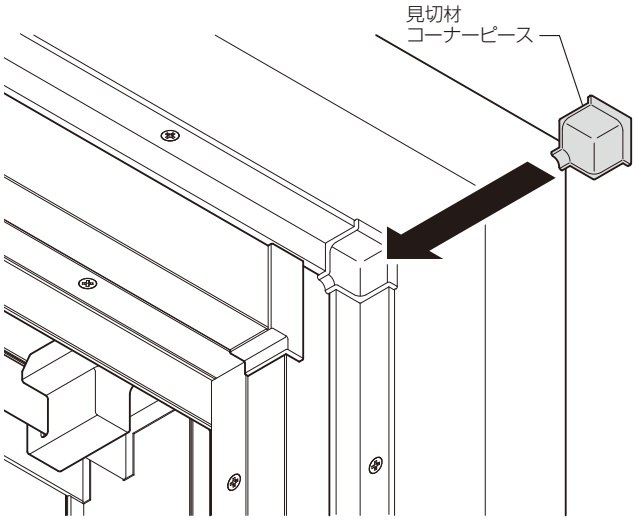




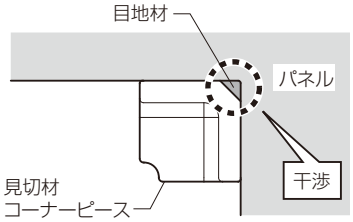
9見切材コーナーピースの取付け（両面テープ仕様）

①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
③窓枠に強く押付けて圧着します。
※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ（現場手配/厚さ0.3mm以下）を張付けて、見切材に圧着してください。

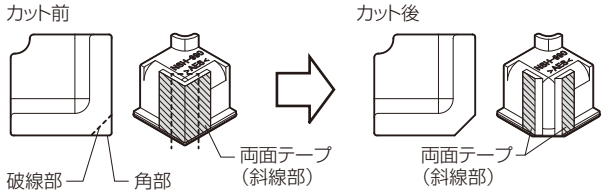




※コーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部（下図破線部）をカットして干渉しないようにしてください。



【見切材コーナーピースカット位置】



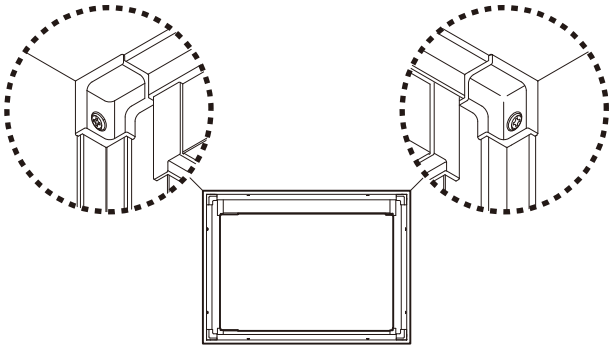
※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。

10見切材コーナーピースの取付け（ねじ止め仕様）

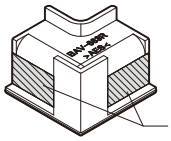
①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。

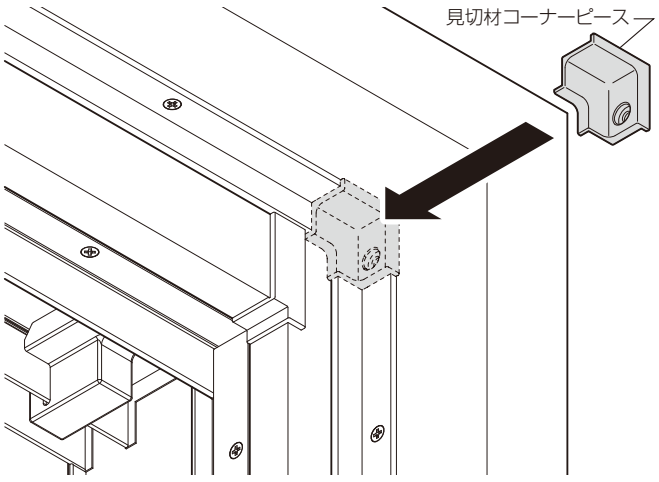
【推奨取付図】

※サイズが小さく、取付しづらい場合は取付向きを変更してください



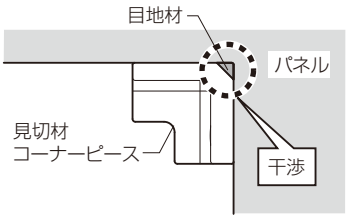
③窓枠に強く押付けて圧着します。
※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ（現場手配/厚さ0.3mm以下）を張付けて、見切材に圧着してください。



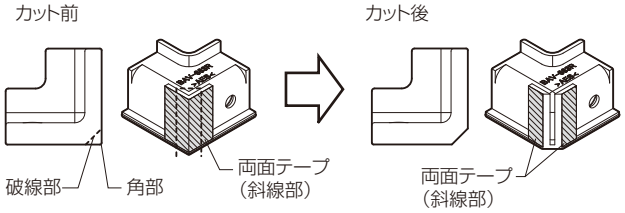


⑩見切材コーナーピースの取付け（ねじ止め仕様）（つづき）

※コーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部（下図破線部）をカットして干渉しないようにしてください。

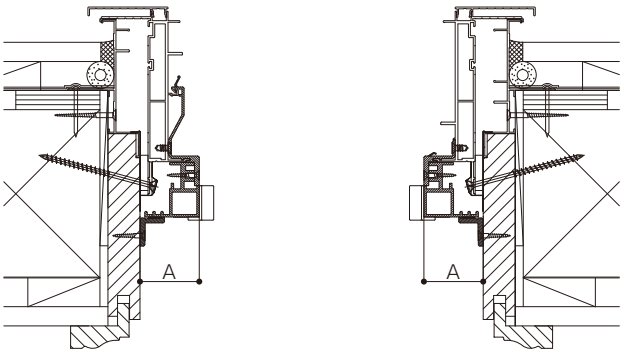


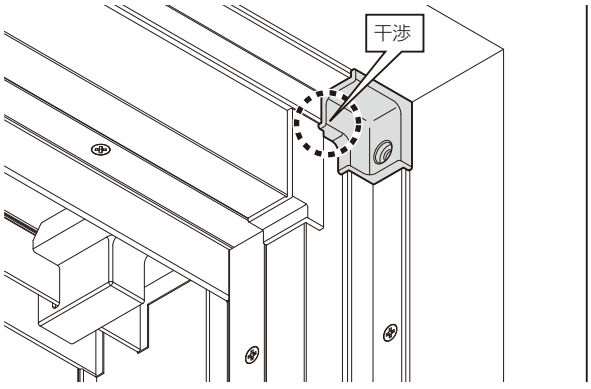
【見切材コーナーピースカット位置】

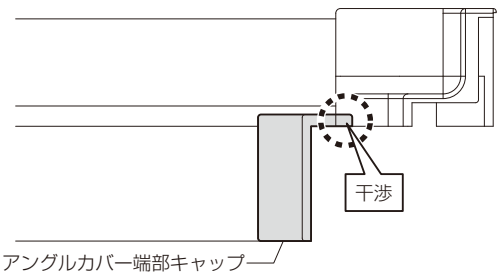


※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。

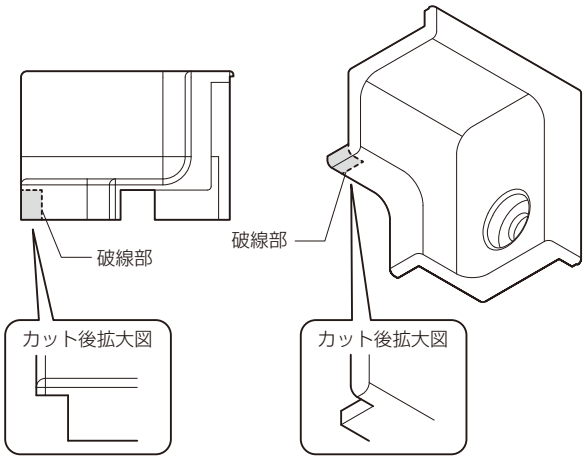
※A寸法≦36mmの場合はアングルカバー端部キャップと干渉します。
干渉する場合は見切材コーナーピースの端部（下図破線部）をカットして干渉しないようにしてください。





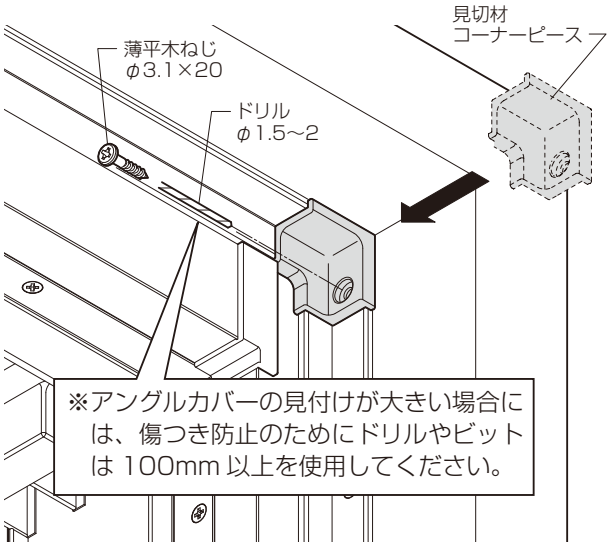


【見切材コーナーピースカット位置】



④取付け穴に合せて見切材と窓枠に下穴（φ1.5～2）をあけ、取付けねじでねじ止めします。

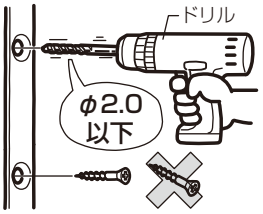
※ねじ止め時に傷つけないためにアングルカバー・見切材を養生等で保護してください。



⑪テラス用アタッチメント端部キャップの取付け

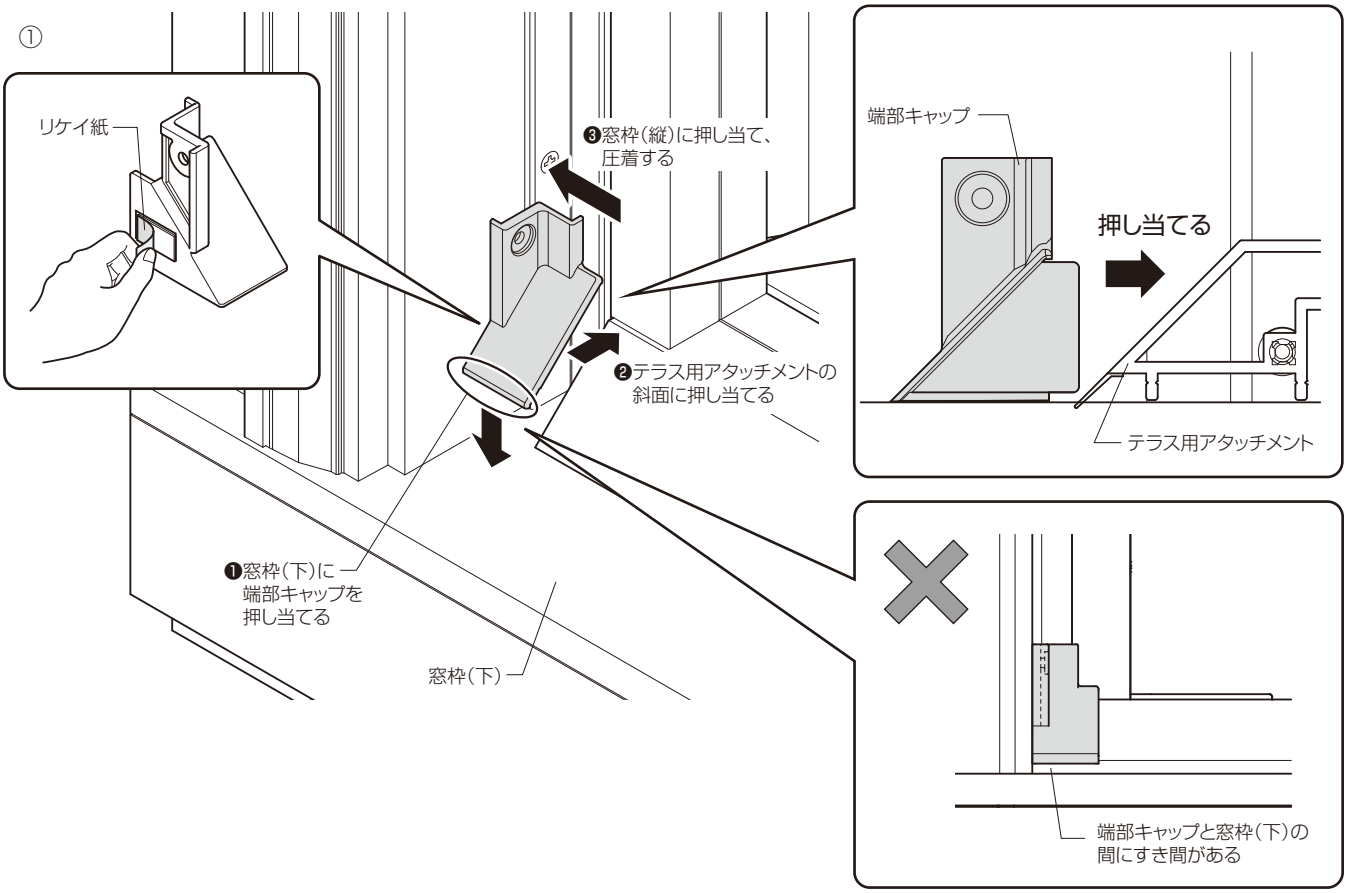
お願い

●ねじはまっすぐにねじ込んでください。

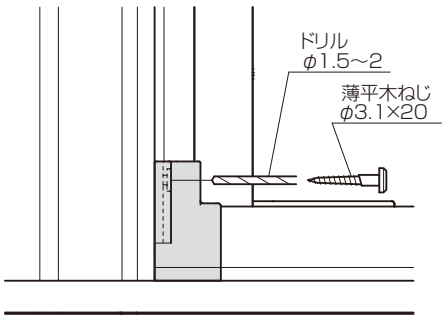


①端部キャップのリケイ紙をはがして、窓枠(下)とテラス用アタッチメントの斜面に端部キャップを当ててスライドさせながら窓枠(縦)に圧着してください。
②端部キャップの取付け穴に合わせて見切材と窓枠に下穴(φ1.5～2)をあけ、取付けねじで固定してください。

①



②



電動ドライバーが縦アングルカバーと干渉することを避けるため、ドリルは60mm以上のものを推奨します。

⑫アングルコーナーピースの取付け（TWタイプのみ）

アングルコーナーピースを枠のアングル面に合わせ、張付けてください。

